第３期播磨科学公園都市圏域
定住自立圏共生ビジョン

（令和８年度～令和 12 年度）

たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町

Contents －目 次－

第１章　共生ビジョンの概要

1　定住自立圏の名称 ･･･ 1
2　定住自立圏の構成市町 ･･･ 1
3　共生ビジョンの目的・役割 ･･･ 1
4　共生ビジョンの期間 ･･･ 1

第２章　圏域の概況

1　圏域の構成市町の概況
(1) 構成市町の地勢・沿革 ･･･ 2
(2) 人口の推移 ･･･ 6
(3) 通勤・通学状況 ･･･ 8
(4) 産業経済・市民生活 ･･･ 9
(5) 公共施設等の状況 ･･･ 13
(6) 播磨科学公園都市における主な都市機能の集積状況 ･････････････････ 14

第３章　圏域の将来像

1　圏域の将来像 ･･･ 15

第４章　定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的な取組内容

● 具体的な取組内容の全体像 ･･･ 16
● 生活機能の強化に係る具体的取組 ･････････････････････････････････････ 24
● 結びつきやネットワークの強化に係る具体的取組 ･････････････････････････ 50
● 圏域マネジメント能力の強化に係る具体的取組 ･････････････････････････ 58

第５章　資料編

1　播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン成果指標及び進捗状況一覧･････････ 60
2　播磨科学公園都市圏域定住自立圏協議経過 ･････････････････････････････ 66
3　播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿 ･････････････ 69

第１章　共生ビジョンの概要

1 定住自立圏の名称

播磨科学公園都市圏域定住自立圏

2 定住自立圏の構成市町

たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町

定住自立圏		令和２年国勢調査		平成27年国調	差引増減（R2-H27）	
		人口	面積	人口		
中心市	たつの市	74,316 人	210.87 ㎢	77,419 人	△ 3,103 人	△ 4.01 %
近隣市町	宍粟市	34,819 人	658.54 ㎢	37,773 人	△ 2,954 人	△ 7.82 %
	上郡町	13,879 人	150.26 ㎢	15,224 人	△ 1,345 人	△ 8.83 %
	佐用町	15,863 人	307.44 ㎢	17,510 人	△ 1,647 人	△ 9.41 %
計		138,877 人	1,327.11 ㎢	147,926 人	△ 9,049 人	△ 6.12 %

3 共生ビジョンの目的・役割

本ビジョンは、定住自立圏形成協定に基づき、生活に必要な機能を確保・充実させるとともに、中心市と近隣市町が互いに連携・協力・補完し、安心で快適に暮らせる魅力あふれる圏域の形成を図るため、中・長期的な観点から本圏域が目指す将来像を定めるとともに、その実現に向けて必要な具体的な取組みを示すものです。

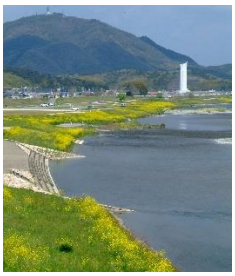
4 共生ビジョンの期間

本ビジョンの計画期間は、令和８年度から令和12年度までの５年間とし、毎年度所要の見直しを行います。

第２章　圏域の概況

1 圏域の構成市町の概況

(1) 構成市町の地勢・沿革

	たつの市	人口：74,316 人 面積：210.87 ㎢ (R2 国勢調査)	【市花】桜　　【市木】梅
たつの市は、兵庫県の南西部に位置し、平成 17 年 10 月に龍野市・揖保郡新宮町・揖保川町・御津町が合併して誕生しました。 市内に清流揖保川が流れ、瀬戸内海に面する水運に恵まれ、山陽道、美作道、筑紫大道、因幡街道などの交通の要衝、陸路、海路の交易点として、人々の往来が盛んであり、豊かな歴史が育まれ、今に伝えています。 手延素麺や醤油醸造、皮革産業といった多様な地場産業があり、市北西部に位置する播磨科学公園都市では、世界最高性能の大型放射光施設 SPring-8 を中心とした先端科学技術が集積しています。 国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された龍野地区には、武家屋敷や町屋など城下町の佇まいが多く残るほか、江戸時代に宿場町として繁栄を誇った室津地区には、北前船関連で日本遺産の認定を受けた町並みと文化財が残るなど、古代から近世にかけての歴史的資源が多数あります。			【特産品】 ・醤油 ・素麺 ・皮革 ・牡蠣 ・醤油まんじゅう ・揖保川トマト ・成山新田野菜 【観光名所】 ・龍野城 ・龍野地区（重要伝統的建造物群保存地区） ・新宮宮内遺跡 ・東山公園 ・コスモス畑 ・永富家住宅 ・室津地区(日本遺産認定（北前船関連）の町並み・文化財) ・新舞子浜 ・綾部山梅林
【主な産業・経済等】 市内を流れる清流揖保川の恵みをうけ、昔から手延素麺、醤油醸造、皮革産業など全国シェアトップクラスの地場産業が盛んです。			
 龍野城	 新宮宮内遺跡	 清流揖保川	 室津港

	宍粟市	人口：34,819 人 面積：658.54 ㎢ （R2 国勢調査）	【市花】ささゆり　【市木】ブナ

宍粟市は、兵庫県の中西部に位置し、平成 17 年 4 月に宍粟郡山崎町・一宮町・波賀町・千種町が合併して誕生しました。

京阪神と中国地方を結ぶ中国自動車道と、山陽と山陰を結ぶ国道 29 号が地域内で交差する西播磨内陸の交通の要衝となっています。

兵庫県下最高峰の氷ノ山、第二峰の三室山、第三峰の後山という、1,000m を超える山々がそびえ、兵庫県下を代表する一級河川揖保川や日本名水百選の千種川をはじめ、福知渓谷、赤西渓谷、音水渓谷等の景勝地、日本の滝百選の原不動滝、かおり風景百選の千年藤、最上山公園（もみじ山）など、豊かで美しい自然資源や風景が、四季折々の風情を織りなしています。

古くから森林資源を利用した木材・木工製品・家具等の生産が地場産業として栄え、豊かな自然を活用した観光農林業を振興する地域を有することにより、商工業と農林業が融和した特色ある地域へと発展を遂げています。

【特産品】

- 地酒（日本酒）
- 宍粟牛
- 自然薯
- ブルーベリー
- りんご
- 鮎

【観光名所】

- 日本の滝百選「原不動滝」
- 最上山公園（もみじ山）
- かおり風景百選「千年藤」
- 兵庫県立国見の森公園
- ばんしゅう戸倉スキー場
- ちくさ高原スキー場
- 家原遺跡公園
- 福知渓谷
- 天児屋鉄山跡
- 赤西・音水渓谷
- 音水湖（カヌー）
- 氷ノ山
- 庭田神社（日本酒発祥の地）

【主な産業・経済等】

林業・農業・木材業・素麺業など･豊かな森林資源を活かし、木材・木工製品等の生産が盛んです。なかでも「宍粟材」は県内素材生産量の約 3 割を占め、県内有数の木材産地として知られています。

音水渓谷

最上山公園（もみじ山）

	上郡町	人口：13,879 人 面積：150.26 ㎢ （R2 国勢調査）	【町花】ダリア　【町木】ツバキ

上郡町は、兵庫県の南西部に位置し、町域の大半が山地、丘陵地で占められ、海抜 300ｍから 400ｍの山地が連なり、町の中央部を南北に清流千種川が流れ、さらに町全体が「水の郷」に指定されています。

町の南部をＪＲ山陽本線が東西に通過し、ＪＲ山陽本線と智頭線の分岐点となる上郡駅があり、京阪神地域や山陽、山陰地域など広域的な交通の要衝地となっています。また、北東部の丘陵地にある播磨科学公園都市は、先端科学技術拠点が集積しており、日本の「ものづくり」産業の振興に大きな役割を果たしています。

古代山陽道や赤松氏等の多数の歴史資源があるほか、西播磨ツーリズム認定のかみごおりさくら園では、河津桜や大寒桜など様々な種類の桜が植樹され、順番に咲き誇ります。美しい桜を３月中旬から４月下旬頃まで長く楽しむことができます。

【特産品】

・ぶどう
・モロヘイヤ
・モリンガ
・千種川の鮎

【観光名所】

・白旗城跡
・駒山城跡
・宝林寺と円心館
・法雲寺のビャクシン
・松雲寺
・山陽道野磨駅家跡
・いきいき交流ふるさと館
　（大鳥圭介生誕地）
・萬勝院
・井の端遺跡公園とかみごおりさくら園
・平家塚

【主な産業・経済等】

清流千種川の恵みを受け、農業を中心に、播磨臨海工業地帯のベッドタウン的役割も果たしながら、平成９年の播磨科学公園都市のまちびらきを経て、先端科学都市としての性格も併せ持つようになっています。

清流千種川

かみごおりさくら園

	佐用町	人口：15,863 人 面積：307.44 ㎢ （R2 国勢調査）

【町花】ひまわり　【町木】いちょう

佐用町は、兵庫県の西部に位置し、平成 17 年 10 月に佐用郡佐用町・上月町・南光町・三日月町が合併して誕生しました。

氷ノ山・後山・那岐山国定公園の一角に位置し、「全国名水百選」に選ばれた清流「千種川」やその支流の佐用川などが南北に流れています。

かつては東西に出雲と大和を結ぶ出雲街道と、南北に吉備と因幡・但馬を結ぶ因幡街道が交差する交通の要衝でした。因幡街道きっての宿場町「平福」には、川沿いに古くからの土蔵や川座敷が立ち並んでいます。この平福にある国史跡「利神城跡」をはじめ佐用平野をとりまく山々には、上月城跡、仁位山城跡、高倉山城、三日月藩乃井野陣屋跡など歴史的遺産が各地域に存在しています。

また「日本の棚田百選」に選定されている乙大木谷の棚田、「全国農村景観百選」に選定されている南光地域のひまわり畑など、美しい田園景観が広がります。

さらに世界最高性能の大型放射光施設 SPring-8 や公開用としては世界最大級の望遠鏡「なゆた」を備えた兵庫県立大学西はりま天文台があり、国際的な科学研究の地にもなっています。

【特産品】

- ひまわり油
- 佐用もち大豆製品
- そば
- ホルモン焼きうどん
- 自然薯
- 三日月高原ぶどう

【観光名所】

- 南光ひまわり畑
- 宿場町　平福
- 佐用の大イチョウ
- 飛龍の滝
- 大イトザクラ
- 三日月の大ムク
- カタクリの花
- ルピナス
- 西新宿花しょうぶ園
- 播州平福しゃくなげの里
- 兵庫県立大学西はりま天文台
- 大撫山の朝霧
- 乙大木谷・田和の棚田

【主な産業・経済等】

佐用もち大豆、ひまわり油、そばなどの地域ブランドを生かした農業

精密機械、電気工具などの製造業

南光ひまわり畑

宿場町平福

(2) 人口の推移

① 人口

本圏域の人口は、平成 12 年に 169,423 人でしたが、20 年後の令和 2 年には、138,877 人と 14 万人を割り込み、30,546 人（△18.0%）減少しています。

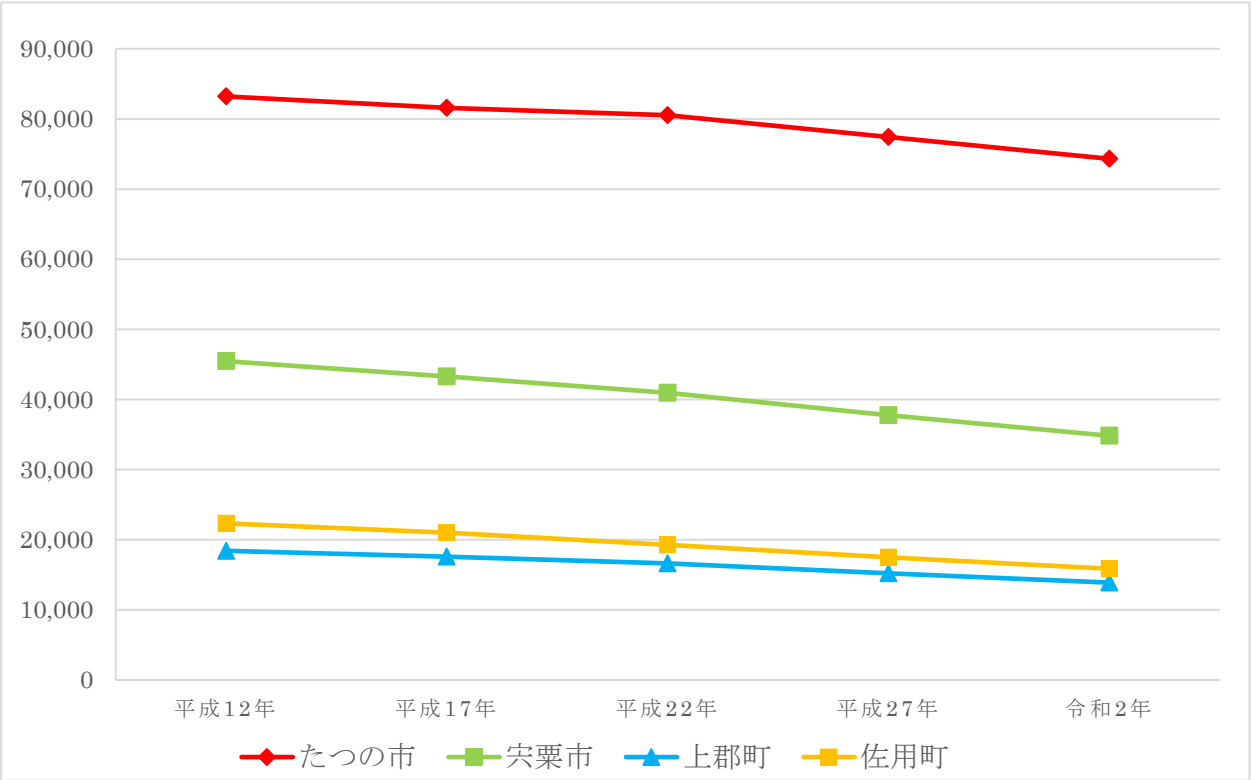
市町別の推移としては、たつの市は年々減少しているものの、かろうじて 1 桁の減少率を維持していますが、たつの市以外の 1 市 2 町は、大幅に減少しており、今後も減少傾向が続くことが予測されます。

【人口の推移】

（単位：人・%）

市町名	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年	差引増減（R2-H12）	
						減少数	減少率
たつの市	83,207	81,561	80,518	77,419	74,316	△ 8,891	△ 10.7
宍 粟 市	45,460	43,302	40,938	37,773	34,819	△10,641	△ 23.4
上 郡 町	18,419	17,603	16,636	15,224	13,879	△ 4,540	△ 24.6
佐 用 町	22,337	21,012	19,265	17,510	15,863	△ 6,474	△ 29.0
圏域合計	169,423	163,478	157,357	147,926	138,877	△30,546	△ 18.0

（出典：国勢調査）



② 年齢3区分別人口及び将来推計人口の推移

本圏域の年齢3区分別人口は、全国的な傾向と同様に15歳未満の年少人口の割合が減る中、65歳以上の老年人口の割合が増加しています。また、15歳以上64歳未満の生産年齢人口の割合も団塊の世代の高齢化に伴い減少傾向にあります。

さらに、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、令和32年（2050年）には、圏域全体で40.3%の人口減少が発生することが予想され、人口減少及び高齢化に対応したまちづくりが喫緊の課題となっています。

【年少人口（15 歳未満）の推移】

（単位：人・%）

市町名	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	差引増減（R2-H12）	
						増減数	増減率
たつの市	12,934	11,840	11,253	10,195	8,995	△ 3,939	△ 30.5
宍 粟 市	7,481	6,394	5,726	4,829	4,000	△ 3,481	△ 46.5
上 郡 町	2,766	2,359	2,017	1,686	1,239	△ 1,527	△ 55.2
佐 用 町	3,189	2,650	2,160	1,787	1,462	△ 1,727	△ 54.2
圏域合計	26,370	23,243	21,156	18,497	15,696	△10,674	△ 40.5

（出典：国勢調査）

【生産年齢人口（15～64 歳）の推移】

（単位：人・%）

市町名	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	差引増減（R2-H12）	
						増減数	増減率
たつの市	54,971	52,606	49,966	45,279	40,382	△14,589	△ 26.5
宍 粟 市	27,373	25,776	23,842	20,819	18,121	△ 9,252	△ 33.8
上 郡 町	11,675	10,983	9,908	8,302	6,882	△ 4,793	△ 41.1
佐 用 町	12,631	11,700	10,556	9,026	7,533	△ 5,098	△ 40.4
圏域合計	106,650	101,065	94,272	83,426	72,918	△33,732	△ 31.6

（出典：国勢調査）

【老年人口（65 歳以上）の推移】

（単位：人・%）

市町名	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	差引増減（R2-H12）	
						増減数	増減率
たつの市	15,302	16,823	19,223	21,945	22,963	7,661	50.1
宍 粟 市	10,606	11,132	11,369	12,125	12,648	2,042	19.3
上 郡 町	3,978	4,261	4,710	5,236	5,454	1,476	37.1
佐 用 町	6,517	6,662	6,544	6,697	6,853	336	5.2
圏域合計	36,403	38,878	41,846	46,003	47,918	11,515	31.6

（出典：国勢調査）

【将来推計人口の推移】

（単位：人・％）

市町名	平成22年（2010年）	令和2年（2020年）	令和12年（2030年）	令和22年（2040年）	令和32年（2050年）	差引増減（R32-R2）	
						増減数	増減率
たつの市	80,518	74,316	66,902	58,871	50,721	△ 23,595	△ 31.7
宍粟市	40,938	34,819	28,763	23,317	18,235	△ 16,584	△ 47.6
上郡町	16,636	13,879	11,319	8,846	6,622	△ 7,257	△ 52.3
佐用町	19,265	15,863	12,491	9,746	7,284	△ 8,579	△ 54.1
圏域合計	157,357	138,877	119,475	100,780	82,862	△ 56,015	△ 40.3

（出典：国立社会保障・人口問題研究所推計資料）

(3) 通勤・通学状況

① 就業者・通学者数

令和2年国勢調査において、各市町に常住する就業者・通学者が、圏域内のどの市町に通勤・通学しているのかを見ると、たつの市へ通勤・通学する人数が2,779人と最も多くなっています。また、たつの市への通勤・通学割合は、宍粟市が7.4%、上郡町が8.1%、佐用町が9.9%となっています。

一方、たつの市に常住する就業者・通学者の通勤・通学先は、上郡町が803人と最も多くなっています。

市町名	常住就業者通学者数（人）	就業者・通学者数（人）				たつの市への通勤・通学割合（%）
		たつの市	宍粟市	上郡町	佐用町	
たつの市	40,787		737	803	589	—
宍粟市	19,224	1,425		96	319	7.4
上郡町	7,199	581	32		331	8.1
佐用町	7,771	773	249	300		9.9
圏域合計	74,981	2,779	1,018	1,199	1,239	8.1

（出典：国勢調査）

(4) 産業経済・市民生活

① 産業別就業人口

本圏域の産業別就業人口は、人口の流出や少子高齢化などにより、平成 12 年から令和 2 年までの 20 年間に約 15,000 人減少しています。特に第 1 次産業の従業人口が減少しており、農林水産業の担い手不足が深刻な問題となっています。

また、圏域における就業人口の割合を見ると、全体的には、産業構造等の変化により全国的な傾向と同じく、第 3 次産業の就業者の割合が高く、令和 2 年には、第 3 次産業の就業者割合が約 60%を占めています。

【産業就業人口の推移】

（単位：人）

市町名	産業区分	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年
たつの市	第 1 次産業	1,411	1,473	1,007	1,023	1,077
	第 2 次産業	16,957	15,259	13,603	12,844	12,161
	第 3 次産業	20,460	20,831	20,775	20,653	20,371
	計	38,828	37,563	35,385	34,520	33,609
宍 粟 市	第 1 次産業	1,147	1,147	992	857	777
	第 2 次産業	9,799	9,122	7,741	7,273	6,770
	第 3 次産業	11,185	11,252	10,660	10,405	9,898
	計	22,131	21,521	19,393	18,535	17,445
上 郡 町	第 1 次産業	465	346	368	332	283
	第 2 次産業	3,048	2,708	2,202	1,966	1,752
	第 3 次産業	5,069	4,918	4,782	4,492	4,184
	計	8,582	7,972	7,352	6,790	6,219
佐 用 町	第 1 次産業	1,392	1,165	647	707	542
	第 2 次産業	3,489	3,126	2,609	2,337	2,025
	第 3 次産業	5,760	5,590	5,340	4,957	4,714
	計	10,641	9,881	8,596	8,001	7,281
圏域合計	第 1 次産業	4,415	4,131	3,014	2,919	2,679
	第 2 次産業	33,293	30,215	26,155	24,420	22,708
	第 3 次産業	42,474	42,591	41,557	40,507	39,167
	合　計	80,182	76,937	70,726	67,846	64,554

（出典：国勢調査）

② 総生産・所得

令和 4 年度の本圏域の市町内総生産額（5,643 億円）は、兵庫県内の総生産総額 23 兆 0,674 億円の 2.4%となっています。

また、令和 4 年度の本圏域の市町民所得額（3,632 億円）は、兵庫県内の市町民所得総額 17 兆 0,200 億円の 2.1%となっています。

さらに、令和 4 年度の本圏域の 1 人当たり市町民所得（2,591 千円）は、兵庫県の 1 人当たり市町民所得（3,150 千円）と比較すると 559 千円の差となっています。

（単位：市町内総生産・市町民所得：百万円
1 人当たり市町民所得：千円）

【圏域市町別の総生産・市町民所得の推移】

市町名	区　分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
たつの市	市町内総生産	348,959	352,475	344,106	340,268	332,609
	市町民所得	214,492	208,219	194,098	200,766	205,895
	1 人当たり市町民所得	2,837	2,777	2,612	2,732	2,826
宍粟市	市町内総生産	120,267	116,654	108,964	114,493	117,372
	市町民所得	90,140	90,835	87,149	87,237	86,918
	1 人当たり市町民所得	2,505	2,567	2,503	2,555	2,599
上郡町	市町内総生産	50,606	49,079	48,583	53,026	51,930
	市町民所得	35,479	35,085	33,539	33,504	33,280
	1 人当たり市町民所得	2,471	2,484	2,417	2,456	2,480
佐用町	市町内総生産	63,417	63,495	59,186	62,343	62,388
	市町民所得	39,739	39,412	37,831	36,842	37,150
	1 人当たり市町民所得	2,414	2,438	2,385	2,379	2,458
圏域合計	市町内総生産	583,249	581,703	560,839	570,130	564,299
	市町民所得	379,850	347,551	352,617	358,349	363,243
	1 人当たり市町民所得	2,557	2,567	2,479	2,531	2,591
兵庫県 1 人当たり市町民所得		3,053	3,060	2,909	3,013	3,150

（出典：令和 4 年度兵庫県市町民経済計算）

◆ 市町内総生産

市町内総生産とは、一定期間（通常１年間）に市町内の生産活動によって、新たに生み出された価値（付加価値）の総額であり、産出額（※）から中間投入額（※）を差し引いたものです。

（※）産出額とは、生産された財貨・サービスの総価額のことである。中間投入額は、生産の過程で原材料・光熱燃料・間接費等として投入された非耐久財及びサービスをいう。

◆ 市町民所得（分配）

生産活動で生み出された付加価値が、市町の居住者にどのように分配されたか把握したもので、雇用者報酬、財産所得、企業所得から構成されます。

◆ １人当たり市町民所得

市町民所得（分配）を総人口で割ったものであり、従って、１人当たり市町民所得は、私たち個人の所得（給与）水準を表すものではなく、企業の利潤なども含む県民経済全体の水準を表します。

③ 観光客数

令和５年度の本圏域への総入込客数は、3,355 千人で、内訳として、日帰り客 3,184 千人、宿泊客 171 千人となっています。

主要観光地への入込数は、道の駅みつ（たつの市）267 千人、播磨光都サッカー場（上郡町）154 千人、道の駅みなみ波賀（宍粟市）131 千人、道の駅宿場町平福（佐用町）84 千人となっています。

【圏域市町別観光客数】　（単位：千人）

項　目		たつの市	宍 粟 市	上 郡 町	佐 用 町	圏域合計
総入込客数		1,712	830	248	565	3,355
内訳	日 帰 り 客	1,674	766	243	501	3,184
	宿　泊　客	38	64	5	64	171

（出典：令和５年度兵庫県観光客動態調査報告書）

④ 医療

本圏域における医療施設数は、病院 13 施設、一般診療所 96 施設、歯科診療所 49 施設となっており、病床数は 1,534 床となっています。（令和５年兵庫県医療施設調査）

また、本圏域の医師数は、令和 4 年 12 月末現在で 197 名となっており、12 年前の平成 22 年 12 月末から５名増加しています。看護師については、1,151 名で 235 名増加しているものの、准看護師は、387 名で 154 名減少しています。（令和４年兵庫県医師・歯科医師・薬剤師統計及び令和４年末兵庫県内看護師等業務従事者届）

【圏域内病院一覧】　　（病床数順）

病　院　名	所在地	許　可　病　床　数					
		一般	療養	精神	結核	感染	計
医療法人古橋会揖保川病院	たつの市			320			320
公立宍粟総合病院	宍 粟 市	199					199
医療法人聖医会佐用中央病院	佐 用 町	104	53				157
たつの市民病院	たつの市	120					120
医療法人社団仁徳会とくなが病院	たつの市	56	53				109
医療法人社団景珠会八重垣病院	たつの市	37	71				108
兵庫県立ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ西播磨病院	たつの市	100					100
医療法人社団緑風会龍野中央病院	たつの市	39	60				99
医療法人社団一葉会佐用共立病院	佐 用 町	90					90
尾﨑病院	佐 用 町		76				76
兵庫県立粒子線医療センター	たつの市	50					50
医療法人社団栗原会栗原病院	たつの市	36					36
圏　域　合　計		831	313	320			1,464

（出典：兵庫県医務課資料「令和７年兵庫県病院名簿」）
※圏域外の病院は除く

【圏域内医療施設の状況】

区　分	平成 22 年	令和５年	差引（R5-H22）
病　　院	15	13	△2
一 般 診 療 所	107	96	△11
歯 科 診 療 所	57	49	△8
圏 域 合 計	179	158	△21
病　床　数	1,736	1,534	△202

（出典：令和５年兵庫県医療施設調査）

【圏域医師・歯科医師・薬剤師の状況】

区　分	平成 22 年	令和４年	差引（R4-H22）
医　　師	192	197	5
歯 科 医 師	73	78	5
薬　剤　師	229	254	25
看　護　師	916	1,151	235
准 看 護 師	541	387	△154
保　健　師	65	85	20
助　産　師	12	13	1
圏 域 合 計	2,028	2,165	137

（出典：令和４年兵庫県医師・歯科医師・薬剤師統計及び
令和４年末兵庫県内看護師等業務従事者届）

(5) 公共施設等の状況

圏域内の公共施設等の箇所数等は、以下のとおりです。

項　　目	たつの市	宍 粟 市	上 郡 町	佐 用 町	圏域合計
幼稚園	0	2	0	1	3
小学校	17	11	3	4	35
中学校	6	7	2	4	19
高等学校	2	3	2	1	8
特別支援学校	2	0	0	0	2
保育所	8	6	1	5	20
認定こども園	19	7	3	0	29
病院	9	1	0	3	13
公民館	5	0	7	0	12
体育館	4	3	2	8	17
図書館	4	1	1	1	7
都市公園	60	9	28	0	97
地域包括支援センター	1	1	1	1	4
特別養護老人ホーム	8	6	2	6	22
養護老人ホーム	1	1	0	1	3
ケアハウス	2	1	0	0	3
介護老人保健施設	4	1	1	2	8
通所介護事業所	19	10	5	4	38
道路改良率	69.7%	60.7%	52.1%	40.2%	
道路舗装率	95.8%	87.1%	78.9%	58.3%	
上水道等普及率	99.93	99.18%	98.71%	99.21%	
生活排水処理率	99.9%	100.0%	98.8%	99.8%	

（出典： 兵庫県市町要覧（令和７年３月発行））

(6) 播磨科学公園都市における主な都市機能の集積状況

「播磨科学公園都市」は、豊かな自然環境のなか、21 世紀の科学技術の発展を支える学術研究機関と「ものづくり」産業が集積するとともに、快適な居住環境や余暇機能などを総合的に備えた「人と自然と科学が調和する高次元機能都市」です。

主な都市機能	主　な　施　設
研　究　施　設	SPring-8（世界最高性能の大型放射光施設）
	SACLA（X線自由電子レーザー施設）
	ニュースバル（中型放射光施設）
医　療　施　設	兵庫県立粒子線医療センター
	兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター
教　育　施　設	兵庫県立大学理学部・大学院
	兵庫県立大学附属高等学校
	兵庫県立大学附属中学校
	播磨高原東中学校
	播磨高原東小学校
	兵庫県立西はりま特別支援学校
行　政　施　設	兵庫県西播磨総合庁舎
	播磨高原広域事務組合

【SPring-8・SACLA・ニュースバル】

第３章　圏域の将来像

1 圏域の将来像

たつの市、宍粟市、上郡町、佐用町で形成する「播磨科学公園都市圏域定住自立圏」は、「清流　揖保川・千種川」、「宍粟 50 名山」、「瀬戸内海国立公園」に象徴される豊かな自然に恵まれ、悠久の歴史に培われた多彩な文化が薫る、魅力あふれる地域資源を有しています。さらに、圏域のほぼ中央に位置する「播磨科学公園都市」は、世界的な科学技術や高度医療施設、教育施設に加え、ものづくり産業の集積や美しい街並みの居住環境など、多様な都市機能が集積しています。

さて、国においてはこれまでの地方創生の 10 年を振り返り、人口減少問題に立ち向かい各地方公共団体が取り組んだ結果、地方移住への関心の高まりや移住者数の増加などの成果が見られたとしています。その一方で、人口減少を受け止めた上での対応の不足や若者や女性の流出要因へのリーチの不足、国と地方の役割の検討の不足、関係機関等との連携の不足、地域の多様なステークホルダーが一体となった取組の不足が課題であったとしています。

こうした背景から地方創生 2.0 では基本姿勢として、当面は人口・生産年齢人口の減少を正面から受け止めた上で、人口規模が縮小しても経済成長を図り、社会を機能させるための適応策を講じていくとしています。

当圏域においては、直近の 10 年間で人口が 157,357 人（平成 22 年国勢調査）から 138,877 人（令和２年国勢調査）へと 18,480 人減少しており、今後も当面の期間は人口減少が続くと見込まれます。こうした人口減少が進む局面において、圏域を構成する２市２町と、医療、福祉、教育、産業、消防、交通など多様なステークスホルダーが連携して事業を展開する定住自立圏の取組みは、地方創生の観点からも重要性を増しています。

第３期共生ビジョンでは、過去 10 年間の施策を深化させつつ、環境変化を踏まえて圏域住民のニーズに対応した取組を進めることで、若者・女性に選ばれ、高齢者も含めた圏域の住民すべてが安心して住み続けられる 「西播磨の未来を拓く連携と共生のまちづくり」を目指します。

播磨科学公園都市圏域定住自立圏域の基本目標（将来像） ～ 西播磨の未来を拓く連携と共生のまちづくりを目指して ～			
圏域人口 （国勢調査）	実績値 （令和 2 年） 138,877 人	目標値 （令和 12 年） 124,000 人	目標値 （令和 17 年） 116,000 人

第４章　定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的な取組内容

1 具体的な取組内容の全体像

平成 28 年 3 月 30 日に締結しました定住自立圏形成協定を踏まえ、生活機能、結びつきやネットワーク及び圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野において、今後推進していく取組内容の全体像を下記のとおり掲載します。

Ａ 生活機能の強化に係る政策分野

① 医療

①－1 医療圏域体制の充実

【取組内容】

地域医療の充実・強化を図るため、医師・看護師等の医療従事者の養成・確保に努め、圏域住民が安心して生活できる地域医療体制を構築する。

(1) 医療従事者、看護師の養成・確保対策事業

(2) 圏域内地域医療機関連携事業

(3) 医療人材育成事業

(4) 持続可能な地域医療体制推進事業

(5) 健康寿命延伸化事業

② 福祉

②－1 高齢者・障害者支援及び認知症対策体制の充実

【取組内容】

高齢者や障害者が、暮らしやすい地域社会の実現に向け、福祉の充実・強化につながる取組を推進する。また、認知症に関する見守りネットワークの構築や相談体制の充実等、地域支援体制の充実を図る。

- (6) 認知症初期集中支援連携事業
- (7) 在宅医療・介護連携ＩＣＴシステム推進事業
- (8) 高齢者等ＳＯＳネットワーク構築事業
- (9) 福祉資格取得助成事業
- (10) 生活支援サポーター養成事業

②－2 子育て支援体制の充実

【取組内容】

圏域住民が安心して子どもを産み育てられる環境を整備するため、子育て支援体制の充実・強化につながる取組を推進する。

- (11) ファミリーサポートセンター広域実施事業
- (12) 病後児保育施設の相互利用

③ 教育

③－1 学校教育・社会教育の充実

【取組内容】
圏域住民が生涯を通して学べる機会の充実を図るため、社会教育・社会体育施設等の共同利用や、圏域や播磨科学公園都市の特性を生かした交流のほか、文化・スポーツ等、児童・生徒の交流等の取組を推進する。

（13）特別支援学校センター的機能を活用した教育相談事業

（14）文化財情報発信共同展示事業

（15）電子図書事業館

（16）図書館読書活動推進事業

（17）圏域図書館連絡便事業

（18）体育教育施設の相互利用及び各種スポーツ大会連携事業

④ 産業振興

④－1 農林畜産業の振興

【取組内容】
圏域内の農林畜産業の担い手や雇用を促進するため、就業及び就学を支援する取組を行い、圏域の人材育成と定住者の増加を図り、農林畜産業の振興を推進する。

(19) 新規就農者奨励事業

(20) (仮称)獣害対策事業

④－2 圏域観光の推進

【取組内容】

圏域における広域観光を推進するため、広域観光体制を充実・強化し、観光資源の磨き上げとネットワーク化による観光事業の充実並びに観光情報の発信及びセールスプロモーションの強化を図る。

(21) 観光客誘致対策事業

④－3 雇用・企業等誘致の推進

【取組内容】

播磨科学公園都市のほか、圏域内の工業団地や低・未利用地、その他空き工場等への企業立地を促進するとともに、ビジネスマッチングや既存企業の育成等による地域産業の活性化と雇用機会の増大を図る。また、播磨科学公園都市内に政府関係機関の誘致を推進する。

(22) ビジネスマッチングフェア開催事業

(23) 合同就職面接会開催事業

(24) 地元企業魅力発信事業

(25) 企業等立地支援事業

④－4 地産地消の推進

【取組内容】
圏域における地産地消を推進するため、地産地消のネットワークの構築及び地産地消に関する事業を行う。

（26）地産地消体験活動推進事業

（27）地場産品普及事業

⑤ 環境

⑤－1 環境への負荷の少ない持続可能な社会の構築

【取組内容】
圏域環境への負荷の少ない持続可能な社会を実現するため、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会づくりの取組を推進する。

（28）電気自動車普及促進事業

（29）環境美化啓発看板設置事業

（30）食べきり運動応援事業

（31）環境保全・ごみ減量化啓発事業

（32）情報通信機器等再資源化事業

（33）森林資源利活用促進事業

⑥ 消防防災

⑥－1 圏域内防災体制の強化

【取組内容】
圏域住民の安全を確保するため、圏域内の防災体制の強化、防災意識の向上に向けた取組を推進する。

(34) 防災リーダー養成事業

(35) 災害備蓄資機材整備・避難者受入対策事業

(36) スマート防災システム構築事業

B 結びつきやネットワークの強化

① 地域公共交通

①－1 地域公共交通ネットワークの充実

【取組内容】
圏域内移動の利便性を向上させるため、姫新線、山陽本線、路線バス等の利用促進のほか、地域公共交通の充実に向けた取組を推進する。

(37) コミュニティバス・路線バス等利用促進事業

(38) 地域公共交通 Maas 推進事業

（39）姫新線・山陽本線利用促進事業

（40）パーク＆ライド助成相互利用促進事業

② 道路等交通インフラ

②－1 効率的な交通機能のネットワークの形成

【取組内容】
効率的な交通機能のネットワーク形成を図るため、圏域内外を結ぶ主要幹線道路や生活道路の整備を推進する。

（41）交通インフラ整備推進事業

③ 交流・定住促進

③－1 地域資源の活用による交流・定住促進

【取組内容】
圏域内の人口減少を抑制するため、圏域内外の交流人口の増大を図るほか、移住・定住支援を推進する。

（42）空き家等情報バンク制度連携事業

（43）定住促進共同情報発信事業

（44）婚活支援事業

（45）多文化共生社会推進事業

C 圏域マネジメント能力の強化

① 人材育成

①－1 地域をけん引する人材の育成及び人事交流の実施

【取組内容】

圏域のマネジメント能力の強化を図るため、合同研修会の開催、地域おこし協力隊等外部の専門人材の活用、人事交流を実施する。

（46）圏域内市町職員交流事業

（47）アナログ規制総点検事業

2 生活機能の強化に係る具体的取組

(1) 医療

① 医療圏域体制の充実

【形成協定の内容】

取　組　内　容	地域医療の充実・強化を図るため、医師・看護師等の医療従事者の養成・確保に努め、圏域住民が安心して生活できる地域医療体制を構築する。
たつの市（甲）の役割	甲は、医師・看護師等の医療従事者の養成・確保に努めるとともに、乙の情報を活用しながら将来的な圏域内医療従事者の増加に向けた取組を行う。また、中核的な医療機能を有する公立２病院（たつの市民病院・宍粟総合病院）の連携体制を一層強化し、圏域が有する医療資源が効率的に運用される地域医療体制の構築を図り、圏域住民が安心して生活できるよう支援を行う。
関係市町（乙）の役割	乙は、甲と連携し、医師・看護師等の医療従事者の養成・確保に努めるとともに、圏域への定住に向けた取組に協力する。また、圏域が有する医療資源を生かし、圏域住民が安心して生活できるよう支援を行う。

【具体的な取組内容】

連携事業名	医療従事者、看護師の養成・確保対策事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	地域医療の充実を図るために、医師・看護師・助産師を目指す学生を支援する。				
期待される効果	圏域内医療機関への就労促進と定着が期待され、医師・看護師・助産師・薬剤師の確保とともに、その適正配置が図れる。				
事業計画	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
役割分担 たつの市 宍粟市	医療従事者、看護師の募集活動を行い、各奨学金支援制度を実施する。				
役割分担 上郡町 佐用町	医療従事者、看護師の募集活動に協力し、各奨学金支援制度を周知する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R7）	目標値（R12）
奨学制度新規利用者数（医師）【累計】	２人	７人
奨学制度新規利用者数（看護師）【累計】	８人	18人

【具体的な取組内容】

連携事業名	圏域内地域医療機関連携事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	たつの市民病院及び宍粟総合病院の担当者が、圏域内の医療・介護機関や各種地域の団体等に対し、感染対策等をはじめとした医療に係るアドバイスを行う。				
期待される効果	圏域医療・介護機関等の医療の強化や向上が期待される。				
事業計画	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	→	→	→	→	→
事業費（単位：千円）	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	23	23	23	23	23
役割分担 たつの市 宍粟市	たつの市民病院及び宍粟総合病院に勤務する担当者が圏域内機関からの相談に対応する。				
役割分担 上郡町 佐用町	制度周知について、中心市と連携して行う。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R7）	目標値（R12）
電話相談実施件数	34件	35件
出前講座実施件数	33件	30件

【具体的な取組内容】

連携事業名	医療人材育成事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	たつの市民病院及び宍粟総合病院において、研修医の受入れや各医療職の実地研修、所属する医療職の育成を積極的に行う。				
期待される効果	圏域における医療職の将来的な定着、地域の中心的な病院として医療の質の向上に繋がる。				
事業計画	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	→	→	→	→	→
事業費（単位：千円）	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	440	440	440	440	440
役割分担 たつの市 宍粟市	たつの市民病院及び宍粟総合病院において、研修医や各医療職の実習受入れに対応する。				
役割分担 上郡町 佐用町	制度周知について、中心市と連携して行う。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R7）	目標値（R12）
研修医受入人数	5人	5人
医療職実習生受入人数	220人	220人

【具体的な取組内容】

連携事業名	持続可能な地域医療体制推進事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	医療職不足や人口減少により地域医療体制の確保や充実を図るため、各公立病院において、オンライン診療・遠隔読影・地域医療連携サービス等の医療 DX を推進することで、地域に必要な医療を提供していく。				
期待される効果	圏域内公立病院を中心に、医療 DX を推進することで医師が少ない地域での医療の提供、地域の診療所との連携体制を整え、地域医療の体制確保を図る。				
事業計画	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
	1,698	1,698	1,698	1,698	1,698
役割分担 たつの市 宍粟市	医療 DX に伴う医療機器の整備や医療連携体制の構築を行う。				
役割分担 上郡町 佐用町	周知について、中心市と連携して行う。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R7）	目標値（R12）
オンライン診療実施件数	136 件	136 件
遠隔読影件数	4,000 件	4,000 件

【具体的な取組内容】

連携事業名	健康寿命延伸化事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	健康寿命を延ばすために、公立病院において提供できる医療的な見地から専門的な医療プログラムや予防に係る教室を実施する。				
期待される効果	市の保健師だけでは対応できない専門的なプログラムや指導を提供することで、住民の健康寿命の延伸を図る。				
事業計画	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
	200	200	200	200	200
役割分担 たつの市 宍粟市	たつの市民病院及び宍粟総合病院において、健康寿命を主としたプログラムの提供や公開講座を実施。				
役割分担 上郡町 佐用町	制度周知について、中心市と連携して行う。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R7）	目標値（R12）
骨粗しょう症プログラム実施人数	830 人	850 人
糖尿病教室参加人数	20 人	20 人

(2) 福祉

① 高齢者・障害者支援及び認知症対策体制の充実

【形成協定の内容】

取　組　内　容	高齢者や障害者が、暮らしやすい地域社会の実現に向け、福祉の充実・強化につながる取組を推進する。また、認知症に関する見守りネットワークの構築や相談体制の充実等、地域支援体制の充実を図る。
たつの市（甲）の役割	甲は、乙及び圏域の関係機関と連携し、高齢者や障害者等が安心して暮らせるまちづくりを推進するとともに、取組の調整を図る。
関係市町（乙）の役割	乙は、甲及び乙の区域の関係機関と連携し、高齢者や障害者等が安心して暮らせるまちづくりを推進する。

【具体的な取組内容】

連携事業名		認知症初期集中支援連携事業				
連携市町名		たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容		認知症または認知症が疑われる人のもとへ訪問し、早期診断及び対応に向けた支援を行う「認知症初期集中支援チーム」の支援内容の充実を図るため、関係機関と連携しチーム員会議を実施する。				
期待される効果		早期発見及び早期に医療機関等につなげることにより、本人及びその家族の不安が軽減されることが期待される。				
事業計画		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		→	→	→	→	→
事業費（単位：千円）		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		920	920	920	920	920
役割分担	中心市	関係市町と連携・協力し、支援内容の充実を目的としたチーム員会議を企画し実施する。				
	関係市町	中心市と連携・協力し、支援内容の充実を目的としたチーム員会議を企画し実施する。				
活用を想定する補助制度等						

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R7）	目標値（R12）
医療・介護サービスにつながった者の割合	75%	75%

【具体的な取組内容】

連携事業名		在宅医療・介護連携ＩＣＴシステム推進事業				
連携市町名		たつの市・上郡町・佐用町				
事業内容		医療と介護の両方を必要とする高齢者に対し、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するため、広域連携システムの運用を推進する。				
期待される効果		圏域内の医療機関や介護保険事業所を利用する場合において、日常の情報共有から緊急対応まで、迅速かつスムーズに連携でき、医療福祉サービスの向上が期待される。				
事業計画		令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		→				
事業費（単位：千円）		令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		1,122	1,122	1,122	1,122	1,122
役割分担	中心市	医師会と連携し、ＩＣＴシステム推進に係る会議等を開催する。 関係市町とのＩＣＴシステム推進に係る連絡会議を開催する。				
	関係市町	医師会と連携し、ＩＣＴシステム推進に係る会議等を開催する。				
活用を想定する補助制度等						

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R7）	目標値（R12）
ＩＣＴシステムアカウント数	166件	196件
登録患者数	666人	846人

【具体的な取組内容】

連携事業名		高齢者等ＳＯＳネットワーク構築事業				
連携市町名		たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容		高齢者等のはいかい対策として、共通のはいかい対策グッズの支給や、取り組み状況・ネットワーク体制等の情報共有を図る。				
期待される効果		認知症高齢者等の行方不明者を早期に発見・保護することより、本人及びその家族や地域住民が安心して暮らせるまちづくりが推進される。				
事業計画		令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		→				
事業費（単位：千円）		令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		99	99	99	99	99
役割分担	中心市	高齢者等のはいかい対策として、取り組み状況やネットワーク体制等の情報共有を図る。				
	関係市町	高齢者等のはいかい対策として、取り組み状況やネットワーク体制等の情報共有を図る。				
活用を想定する補助制度等						

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R7）	目標値（R12）
ＳＯＳネットワーク登録者数	619人	829人

【具体的な取組内容】

連携事業名	福祉資格取得助成事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域内福祉事業所等に勤務する職員又は勤務する予定の方に対して、資質向上、スキルアップを図るために資格取得に係る経費を助成する。				
期待される効果	各事業所を利用する高齢者等に対する職員の資質向上や各事業所の人員不足の解消が期待される。				
事業計画	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200
役割分担 中心市	圏域内福祉事業所等に勤務する職員又は勤務する予定の方に事業を周知するとともに、助成を行う。				
役割分担 関係市町	圏域内福祉事業所等に勤務する職員又は勤務する予定の方に事業を周知するとともに、助成を行う。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R7）	目標値（R12）
助成事業による新規資格取得者数【累計】	320人	420人

【具体的な取組内容】

連携事業名	生活支援サポーター養成事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	「介護予防・日常生活支援総合事業」において、「緩和した基準による訪問型サービス」に従事する方を養成する研修会を開催する。研修受講者は、圏域内の「緩和した基準による訪問型サービス」で位置づけている一定の研修受講者とする。				
期待される効果	圏域内で不足している福祉サービス従事者の養成が図れる。				
事業計画	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	128	128	128	128	128
役割分担 中心市	「緩和した基準による訪問型サービス」に従事する方を養成する研修会を開催する。年１回開催し、担当は輪番とする。				
役割分担 関係市町	「緩和した基準による訪問型サービス」に従事する方を養成する研修会を開催する。年１回開催し、担当は輪番とする。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R7）	目標値（R45）
生活支援サポーター養成研修修了者数【累計】	95人	140人

(2) 福祉

② 子育て支援体制の充実

【形成協定の内容】

取　組　内　容	圏域住民が安心して子どもを産み育てられる環境を整備するため、子育て支援体制の充実・強化につながる取組を推進する。
たつの市（甲）の役割	甲は、圏域内の子育て環境の充実を図るため、甲が実施する事業について、圏域内の住民が利用できるようにするともに、利用に関する調整を図る。
関係市町（乙）の役割	乙は、圏域内の子育て環境の充実を図るため、乙が実施する事業について、圏域内の住民が利用できるようにする。

【具体的な取組内容】

連携事業名		ファミリーサポートセンター広域実施事業				
連携市町名		たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容		圏域内の子育て支援の充実を図るため、登録会員の確保に資する講習会を実施するとともに、広域連携を図る。				
期待される効果		圏域全体として、安心して子育てができる支援体制の充実が期待される。				
事業計画		令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
		→				
事業費（単位：千円）		令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
		14,019	14,019	14,019	14,019	14,019
役割分担	中心市	圏域住民が参加できるファミリーサポートセンター講習会を実施し、関係市町や住民への周知及び事業の調整を行う。				
	関係市町	圏域住民が参加できるファミリーサポートセンター講習会を実施し、関係市町や住民への周知及び事業の調整を行う。				
活用を想定する補助制度等		子ども・子育て支援交付金、ファミリー・サポート・センター事業補助金				

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R7）	目標値（R12）
ファミリーサポートセンター登録会員数	1,059 人	1,059 人
ファミリーサポート養成講座の開催回数	12 回	12 回

【具体的な取組内容】

連携事業名	病児・病後児保育施設の相互利用					
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町					
事業内容	圏域内の子育て環境の充実を図るため、圏域内に設置されている病児・病後児保育施設について、圏域住民を対象に事業を展開する。					
期待される効果	圏域全体として、保護者の就労を支援するとともに、安心して子育てできる環境の充実が期待される。					
事業計画	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
	→					
事業費（単位：千円）	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
	35,379	33,630	33,630	33,630	33,630	
役割分担	中心市	関係市町と連携し、圏域内の病児・病後児保育施設を相互利用できるようにするとともに、取組みの調整を図る。				
	関係市町	中心市と連携し、圏域内の病児・病後児保育施設を相互利用できるようにするとともに、取組みの調整を図る。				
活用を想定する補助制度等	子ども・子育て支援交付金、病児・病後児保育推進事業補助金					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R6）	目標値（R12）
利用者数	392人	610人

(3) 教育

① 学校教育・社会教育の充実

【形成協定の内容】

取　組　内　容	圏域住民が生涯を通して学べる機会の充実を図るため、社会教育・社会体育施設等の共同利用や、圏域や播磨科学公園都市の特性を生かした交流のほか、文化・スポーツ等、児童・生徒の交流等の取組を推進する。
たつの市（甲）の役割	甲は、圏域内の住民がより多様な学習機会を得られるよう、社会教育・社会体育施設等の相互利用及び圏域や播磨科学公園都市の特性を生かした交流や児童・生徒の交流、各種イベント開催等の調整を図る。
関係市町（乙）の役割	乙は、甲と連携し、圏域内の住民がより多様な学習機会を得られるよう、社会教育・社会体育教育施設等の相互利用及び圏域や播磨科学公園都市の特性を生かした交流や児童・生徒の交流、各種イベント開催等の調整を図る。

【具体的な取組内容】

連携事業名	特別支援学校センター的機能を活用した教育相談事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域内小中学校の支援を必要とする児童生徒に対する教育相談を充実するため、西はりま特別支援学校及び播磨特別支援学校を軸としたセンター的機能を活用し実施する。				
期待される効果	圏域内に在籍する支援を必要とする児童生徒に対し、教育的ニーズに応じた適切な教育の提供及び教育相談体制の充実が期待される。				
事業計画	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	→	→	→	→	→
事業費（単位：千円）	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	184	184	844	184	184
役割分担　中心市	関係市町及び特別支援学校等と協議・調整し、教育相談事業を実施する。				
役割分担　関係市町	中心市と連携し、各市町における教育相談事業を実施する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R7）	目標値（R12）
教育相談事業実施延回数	140回	150回

【具体的な取組内容】

連携事業名	文化財情報発信共同展示事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域市町の資料館や文化財に関する情報を集約し、ホームページにて共同で発信すると同時に、圏域市町が所蔵する文化的・歴史的資料の巡回展示を実施する。				
期待される効果	文化的・歴史的な魅力の共有により圏域全体の魅力が再発見でき、圏域住民の郷土意識の向上が図れるとともに、圏域外へも情報発信することで、圏域内外の交流人口を増加が期待される。				
事業計画	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	→	→	→	→	→
事業費（単位：千円）	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	400	400	400	400	400
役割分担 中心市	関係市町と連携して、定住自立圏ホームページでの情報発信や巡回展等の催事企画を行うとともに、各種印刷物等を作成する。				
役割分担 関係市町	中心市と連携して、関係市町資料館の情報等を提供及び催事への協力を行う。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R7）	目標値（R12）
ホームページ投稿回数	（新規）	20回
逸品展示展来館者数	1,100人	1,200人

【具体的な取組内容】

連携事業名	電子図書館事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域住民を対象とする電子図書館（インターネット上で電子書籍を利用できるシステム）の運営を行う。				
期待される効果	非来館型のサービスとして、図書館への来館に支障のある方や、視覚に障害のある方に対しても図書館サービスを提供でき、圏域住民の学びの機会の充実が図れる。また、デジタル化した郷土資料等を所蔵することで、圏域内の一体感の醸成や文化交流も期待される。				
事業計画	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	→	→	→	→	→
事業費（単位：千円）	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	2,952	3,101	3,249	3,398	3,546
役割分担 中心市	電子図書館を運営し、利用者登録やタブレット端末を使用した利用案内、広報活動及び郷土資料等の作成・収集について実施する。				
役割分担 関係市町	利用者登録やタブレット端末を使用した利用案内、広報活動及び郷土資料等の作成・収集について実施する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R6）	目標値（R12）
電子図書館年間貸出冊数	6,244冊	12,000冊

【具体的な取組内容】

連携事業名	図書館読書活動推進事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域内図書館に著名講師の講演会等を開催し、読書活動を推進する。				
期待される効果	著名講師の講演会等を開催することにより、圏域住民が読書への関心を持ってもらうとともに、圏域住民への図書館周知と利用促進が図れる。				
事業計画	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
役割分担 中心市	講演会の計画に協力し周知する。				
役割分担 関係市町	上郡町が、講演会を企画・実施し、連携市町は講演会の計画に協力し周知する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R6）	目標値（R12）
読書活動推進講演会の来場者数	1,049 人	1,200 人

【具体的な取組内容】

連携事業名	圏域図書館連絡便事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域内の図書館で借りた本であれば、圏域内のどの図書館でも返却できるように、圏域市町間に本の連絡便を運行する。				
期待される効果	利用者の返却時の負担を軽減することで、既に実施している図書館の広域利用が更に活性化でき、利便性の向上が図れる。				
事業計画	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	333	333	333	333	333
役割分担 中心市	連絡便の運行管理及び関係市町間の連絡調整を行う。				
役割分担 関係市町	利用者からの返却本を適切に管理し、確実な配送を行う。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R5）	目標値（R12）
圏域図書館連絡便利用冊数	2,489 冊	2,650 冊

【具体的な取組内容】

連携事業名	体育教育施設の相互利用及び各種スポーツ大会連携事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域住民の心身における健康の増進を図るため、施設の相互利用及びスポーツ大会や教室等を開催する。				
期待される効果	社会体育施設の適正な維持管理や運営事業等、相互利用・協力により、圏域住民の交流及び健康増進の充実が期待される。				
事業計画	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	6,300	3,000	3,000	3,000	3,000
役割分担 中心市	社会体育施設の相互利用及び各種イベント開催等を企画し実施する。				
役割分担 関係市町	社会体育施設の相互利用及び各種イベント開催等の計画に協力し周知する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R5）	目標値（R12）
スポーツ大会連携事業交流参加者数	4,249人	4,300人

(4) 産業振興

① 農林畜産業の振興

【形成協定の内容】

取　組　内　容	圏域内の農林畜産業の担い手や雇用を促進するため、就業及び就学を支援する取組を行い、圏域の人材育成と定住者の増加を図り、農林畜産業の振興を推進する。
たつの市（甲）の役割	甲は、乙及び関係団体と連携し、圏域内の農林畜産業従事者の雇用の促進及び就業支援を行い、農林畜産業を振興するとともに、取組の調整を図る。
関係市町（乙）の役割	乙は、甲と情報を共有し、圏域内の農林畜産業従事者の雇用の促進及び就業支援を行い、農林畜産業を振興するとともに、乙の区域の関係機関との連携を図る。

【具体的な取組内容】

連携事業名		新規就農者奨励事業				
連携市町名		たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容		農林畜産業従事者の雇用の促進及び就業支援を行い、農林畜産業の振興を推進する。				
期待される効果		農林畜産業の雇用、就業者が増えると産業が活性化する。				
事業計画		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		→	→	→	→	→
事業費（単位：千円）		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
役割分担	中心市	関係市町及び関係機関の連携、情報共有、調整を行う。				
	関係市町	中心市及び関係機関との連携し、就農者との情報共有、調整を行う				
活用を想定する補助制度等		新規就農者育成総合対策事業補助金				

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R7）	目標値（R12）
新規就農者数	1人	1人

【具体的な取組内容】

連携事業名		獣害対策事業				
連携市町名		たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容		市町域を超えて移動する鳥獣の捕獲拡大を図るため、圏域での情報提供等を推進する。				
期待される効果		捕獲拡大による農作物等への被害減少。				
事業計画		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		→	→	→	→	→
事業費（単位：千円）		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		3,328	3,467	3,584	3,661	3,772
役割分担	中心市	関係市町及び関係団体の連携、情報提供、調整を行う。				
	関係市町	中心市及び関係団体と連携し、効果的な鳥獣捕獲に係る情報提供、調整を行う。				
活用を想定する補助制度等						

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R7）	目標値（R12）
市町境界隣接自治会における捕獲数	204頭	289頭

(4) 産業振興

② 圏域観光の推進

【形成協定の内容】

取　組　内　容	圏域における広域観光を推進するため、広域観光体制を充実・強化し、観光資源の磨き上げとネットワーク化による観光事業の充実並びに観光情報の発信及びセールスプロモーションの強化を図る。
たつの市（甲）の役割	甲は、乙及び関係団体と連携し、観光資源の磨き上げを行い、観光情報の発信及び宣伝活動等のセールスプロモーションの強化を行う。
関係市町（乙）の役割	乙は、甲及び関係団体と連携し、観光資源の磨き上げを行い、観光情報の発信及び宣伝活動等のセールスプロモーションの強化を行う。

【具体的な取組内容】

連携事業名		観光客誘致対策事業				
連携市町名		たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容		圏域観光パンフレット・ガイドブック等の作成や観光キャンペーン・観光ツアー（マイクロツーリズム）等を行い、圏域外への情報発信及びセールスプロモーションの強化を図るとともに、着地型・滞在型の観光商品の開発強化等を行い、観光事業の充実を図る。				
期待される効果		観光キャンペーン及び観光ツアーを実施することにより、圏域内の交流人口増加を図り、圏域経済の活性化が期待される。				
事業計画		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		→				
事業費（単位：千円）		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		12,425	12,000	12,000	12,000	12,000
役割分担	中心市	関係市町や各種団体と協力し、圏域観光パンフレットの作成や広域観光の推進を図る観光ツアー等を企画・実施する。				
	関係市町	中心市や各種団体と協力し、圏域観光パンフレットの作成や広域観光の推進を図る観光ツアー等を企画・実施する。				
活用を想定する補助制度等						

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R6）	目標値（R12）
観光客入込数	3,188,370 人	3,589,000 人

【龍野納涼花火大会（たつの市）】

【ふじ祭り（宍粟市）】

【赤松歴史まつり（上郡町）】

【ひまわり祭り（佐用町）】

(4) 産業振興

③ 雇用・企業等誘致の推進

【形成協定の内容】

取　組　内　容	播磨科学公園都市のほか、圏域内の工業団地や低・未利用地、その他空き工場等への企業立地を促進するとともに、ビジネスマッチングや既存企業の育成等による地域産業の活性化と雇用機会の増大を図る。また、播磨科学公園都市内に政府関係機関の誘致を推進する。
たつの市（甲）の役割	甲は、乙及び関係団体と連携し、企業及び政府関係機関の誘致等に必要な情報を集約するとともに、圏域内企業と協力し、雇用創出を推進する。
関係市町（乙）の役割	乙は、甲から提供のあった情報を活用し、圏域への雇用・企業誘致等を推進する。

【具体的な取組内容】

連携事業名	ビジネスマッチングフェア開催事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域内企業に近隣で開催されるビジネスマッチングフェア等の情報を積極的に周知し、出展の機会を提出し出展企業間の交流及び学生などの来場者と企業とのマッチングを行う。				
期待される効果	企業間の交流と活発化が図られ、地域産品の販路拡大や新たな雇用創出が期待される。				
事業計画	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	200	200	200	200	200
役割分担　中心市	関係市町、金融機関及び商工団体と連携を図りながら、事業を実施する。				
役割分担　関係市町	中心市、金融機関及び商工団体と連携を図りながら、事業を実施する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R6）	目標値（R12）
ビジネスマッチングフェア参加企業数	10社	20社

【具体的な取組内容】

連携事業名	合同就職説明会				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	若者の就労を支援するための合同就職説明会を合同で開催し、圏域内での雇用拡大を図るとともに、ハローワーク求人情報のオンライン提供を活用した圏域独自の求人情報を提供する。				
期待される効果	参加企業の範囲が広がることで、求職者にとって選択肢が広がり、就業機会が増えることが期待される。				
事業計画	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	17,527	17,527	17,527	17,527	17,527
役割分担 中心市	関係市町、商工団体及びハローワークと連携を図りながら、事業を実施する。				
役割分担 関係市町	中心市、商工団体及びハローワークと連携を図りながら、事業を実施する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R7）	目標値（R12）
合同就職面接会参加人数	64人	90人

【具体的な取組内容】

連携事業名	地元企業魅力発信事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	主に高校生を対象として、圏域内の地元企業の魅力を伝える説明会等を実施する。				
期待される効果	地域を支える若年層を中心として圏域内定着に繋げ、経済の活性化・安定化が図れる。				
事業計画	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	1,255	1,255	1,255	1,255	1,255
役割分担 中心市	関係市町、商工団体と連携を図りながら、事業を実施する。				
役割分担 関係市町	中心市、商工団体と連携を図りながら、事業を実施する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値	目標値（R12）
合同説明会に参加する学生の人数	（新規）	300

【具体的な取組内容】

連携事業名	企業等立地支援事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	中国横断自動車道姫路鳥取線の全線開通による、播磨科学公園都市をはじめ圏域市町への企業立地等を更に促進するため、現行の優遇制度の運用及び同制度の拡充や新設を検討する。				
期待される効果	圏域内への企業立地及び留置等が進むことにより、圏域の経済活性化や雇用状況の改善が期待される。				
事業計画	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	158,258	150,258	140,258	140,258	140,258
役割分担 中心市	関係市町及び兵庫県と連携し、播磨科学公園都市等への企業立地に関する情報交換や優遇制度の新設・拡充を行い、企業等の立地を支援する。				
役割分担 関係市町	中心市及び兵庫県と連携し、播磨科学公園都市等への企業立地に関する情報交換や優遇制度の新設・拡充を行い、企業等の立地を支援する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R7）	目標値（R12）
奨励金等による新規雇用創出人数	7人	28人

(4) 産業振興

④ 地産地消の推進

【形成協定の内容】

取　組　内　容	圏域における地産地消を推進するため、地産地消のネットワークの構築及び地産地消に関する事業を行う。
たつの市（甲）の役割	甲は、特産品等を活用した地産地消に関する特産品の販路拡大、イベント等を企画し、地産地消の取組に関する情報発信等を行う。
関係市町（乙）の役割	乙は、甲と協力し、特産品等を活用した地産地消に関する特産品の販路拡大、イベント等を企画し、地産地消の取組に関する情報発信等を行う。

【具体的な取組内容】

連携事業名		地産地消推進事業				
連携市町名		たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容		農畜水産物直売イベントにおける各市町の特産品の販売やＨＰ等を通じた情報発信により、連携市町間で相互に特産品を消費する。				
期待される効果		圏域内の農畜水産物への理解が深まりとともに、消費拡大による生産者の所得向上及び販路拡大が期待される。				
事業計画		令和８年度	令和９年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
		→	→	→	→	→
事業費（単位：千円）		令和８年度	令和９年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
		30	10	10	10	10
役割分担	中心市	関係市町及び関係団体と連携し、圏域農畜水産物の地産地消に係る事業の企画・調整を行う。				
	関係市町	中心市及び関係団体と連携し、圏域農畜水産物の地産地消に係る事業への情報提供、調整を行う。				
活用を想定する補助制度等						

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R7）	目標値（R12）
特産品の販売回数	（新規）	24 回
販売イベントの参加者数	（新規）	700 人

【具体的な取組内容】

連携事業名	地場産品普及事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	地場産品を広くＰＲするため、各市町が出展する各種イベントにおいて圏域内の地場産品を展示・販売する。				
期待される効果	圏域外の住民や観光客等に地場産品をＰＲすることにより、知名度の向上並びに販路拡大に期待される。				
事業計画	令和８年度	令和９年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和８年度	令和９年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
	593	724	724	724	724
役割分担 中心市	関係市町から物品提供などの協力を受け、姉妹都市で開催されるイベント等に参加し、圏域内地場産品に関する PR を行う。				
役割分担 関係市町	中心市及び他の連携市町の協力のもとイベントに参加し、圏域内地場産品のＰＲを行う。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R7）	目標値（R12）
イベント出展回数	３回	６回

【室津産牡蠣（たつの市）】

【木工製品（宍粟市）】

【ぶどう（上郡町）】

【ひまわり油（佐用町）】

(5) 環境

① 環境への負荷の少ない持続可能な社会の構築

【形成協定の内容】

取　組　内　容	圏域環境への負荷の少ない持続可能な社会を実現するため、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会づくりの取組を推進する。
たつの市（甲）の役割	甲は、乙と連携して、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会づくりに取り組むとともに、その調整を図る。
関係市町（乙）の役割	乙は、甲と連携して、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会づくりに取り組む。

【具体的な取組内容】

連携事業名		電気自動車普及促進事業				
連携市町名		たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容		二酸化炭素等の排出を削減するため、電気自動車の普及促進及び急速充電器の整備を行う。				
期待される効果		圏域内の電気自動車の普及促進により、二酸化炭素の排出抑制、省エネへの貢献だけでなく、災害時等における電気自動車の非常用電源としての活用が期待される。また、移動経路における充電の需要に応えることにより、観光入込客数等の増加も期待される。				
事業計画		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		→	→	→	→	→
事業費（単位：千円）		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		313	313	313	313	313
役割分担	中心市	電気自動車の普及促進に努め、急速充電器の設置及び利用を促進する。				
	関係市町	電気自動車の普及促進に努め、急速充電器の設置及び利用を促進する。				
活用を想定する補助制度等		次世代自動車導入補助事業				

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R6）	目標値（R12）
急速充電器利用回数	1,898回	1,250

【道の駅しんぐう内急速充電器】

【具体的な取組内容】

連携事業名	環境美化啓発看板設置事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域共通の不法投棄禁止看板及び犬等のフン放置禁止看板を製作し、不法投棄等が繰り返される場所に設置することにより、圏域全体で不法投棄等の撲滅に向けた活動や啓発を行う。				
期待される効果	圏域の市町及び関係機関（警察または兵庫県動物愛護センター）との連名で看板を製作することで、不法投棄等に対する抑止効果の高まりが期待される。				
事業計画	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	776	776	776	776	776
役割分担 中心市	不法投棄禁止、犬等のフン放置禁止看板を製作し、圏域全体に環境美化を啓発する。				
役割分担 関係市町	不法投棄、犬等のフン放置が繰り返される場所に看板を設置し、圏域全体に環境美化を啓発する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R7）	目標値（R12）
不法投棄物処理量	7.35ｔ	6.61ｔ

【具体的な取組内容】

連携事業名	食べきり運動応援事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域内の飲食店や宿泊施設を対象に「食べきり運動※協力店」を募集・登録し、ポスターを配布するとともに、ＷＥＢ上で広く周知する。 ※ハーフサイズや小盛りなど、食べ残しが出ない工夫をしたメニューの設定、持ち帰りが出来るメニュー、持ち帰り用パックの提供、客への意識啓発等、食べ残しを減らす取組に協力する店				
期待される効果	圏域内の飲食店や宿泊施設から出る食品廃棄物を削減するとともに、消費者も「残さず食べる」ことを意識するようになり、家庭における買いすぎ、作りすぎの抑制、生ごみ減量化も期待される。				
事業計画	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	42	42	42	42	42
役割分担 中心市	食べきり運動協力店の募集活動・登録事務を行い、ポスターを製作する。				
役割分担 関係市町	食べきり運動協力店の募集・登録に協力し、ポスターを圏域内の協力店に配布する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R6）	目標値（R12）
食べきり運動協力店登録数	47店	57店

【具体的な取組内容】

連携事業名	環境保全・ごみ減量化啓発事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	環境保全・ごみ減量化の啓発を目的とした講座・講習会・イベント等を開催する。				
期待される効果	圏域住民の環境保全・ごみ減量化の意識向上が期待される。				
事業計画	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	713	465	465	465	465
役割分担 中心市	環境保全・ごみ減量化啓発を目的とした講座、講習会、イベント等を開催し、圏域全体に周知する。				
役割分担 関係市町	環境保全・ごみ減量化啓発を目的とした講座、講習会、イベント等の情報を周知し、参集に協力する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R6）	目標値（R12）
家庭系普通ごみ排出量	23,858ｔ	23,017ｔ

【具体的な取組内容】

連携事業名	情報通信機器等再資源化事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	パソコンをはじめ、家電４品目（テレビ・洗濯機・エアコン・冷蔵庫）を含む家電製品の処分について宅配回収を行っている事業者と連携し、利便性の向上とリサイクルを推進する。				
期待される効果	現在、デスクトップパソコン及び家電４品目については各種リサイクル法により、行政での収集は行っておらず、搬出者自身が小売店等に持ち込み、処分をしなければならない。新たに、圏域一帯で事業に取り組むことにより事業者が自宅にまで回収することでの利便性の向上と不正処理及び不法投棄の減少について効果が期待できる。				
事業計画	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	0	0	0	0	0
役割分担 中心市	パソコンをはじめ、家電４品目（テレビ・洗濯機・エアコン・冷蔵庫）を含む家電製品の処分について宅配回収を行っている事業者と連携し、利便性の向上とリサイクルを推進する。				
役割分担 関係市町	その他、行政収集などを行い回収・リサイクルを推進する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R7）	目標値（R12）
小型家電の回収量（Kg）	（新規）	3,000Kg

【具体的な取組内容】

連携事業名	森林資源利活用促進事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	各市町において活動している森林ボランティア団体等のイベントや活動内容を情報共有し、PR する。				
期待される効果	森林に関心を持つ市民及び町民に対し、近隣で活動している森林ボランティア団体等のイベント、活動を PR することで参加を促し、団体による森林整備等を推進し、森林資源の利活用を促進する。				
事業計画	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
	100	100	100	100	100
役割分担 中心市	関係市町及び関係団体と連携し、森林ボランティア活動に係る事業の企画・調整を行う。				
役割分担 関係市町	中心市及び関係団体と連携し、森林ボランティア活動に係る事業への情報提供、調整を行う。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R6）	目標値（R12）
関係市町での情報共有回数（回）	０回	２回

(6) 消防防災

① 圏域内防災体制の強化

【形成協定の内容】

取　組　内　容	圏域住民の安全を確保するため、圏域内の防災体制の強化、防災意識の向上に向けた取組を推進する。
たつの市（甲）の役割	甲は、関係団体と連携を図りながら乙と連携して情報の共有化に努めるとともに、災害発生時に備え減災対策を図る。
関係市町（乙）の役割	乙は、関係団体と連携を図りながら甲と連携して情報の共有化に努めるとともに、災害発生時に備え減災対策を図る。

【具体的な取組内容】

連携事業名		防災リーダー養成事業				
連携市町名		たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容		圏域での災害初動期対応の柱となる地域防災力向上を推進するため、自主防災組織活動の指導や地域住民へのアドバイス等、地域の防災活動に対して指導を行うことができる人材を養成する。				
期待される効果		圏域内の消防防災・災害対応体制の維持・確保が図れ、圏域住民の安全・安心な生活の確保につながることが期待される。				
事業計画		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		→	→	→	→	→
事業費（単位：千円）		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		234	234	234	534	234
役割分担	中心市	関係市町と連携・協力し、講習会・研修等を企画し実施する。				
	関係市町	中心市と連携・協力し、講習会・研修等を企画し実施する。				
活用を想定する補助制度等						

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値(R7)	目標値（R12）
フォローアップ研修受講者数	40 人	40 人

【揖保川水系総合水防演習】

【具体的な取組内容】

連携事業名	災害備蓄資機材整備・避難者受入対策事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域の災害時避難施設等において共用できる備蓄資機材を整備するとともに、圏域内において避難者の一時受け入れや避難所運営についての具体的な対策を整備する。				
期待される効果	備蓄品の情報を共有することにより、圏域内で効率的な備蓄体制が整備でき、大規模災害時を想定した避難者の一時滞在について、迅速に対応できることが期待される。				
事業計画	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	6,316	6,316	6,316	6,316	6,316
役割分担 中心市	関係市町と連携・協力し、圏域内で共用できる備蓄資機材を整備するとともに、避難者の一時受け入れや避難所運営についての具体的な対策を講じる。				
役割分担 関係市町	中心市と協力し、広域備蓄資機材の検討や難者の一時受け入れや避難所運営についての具体的な対策を講じる。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R7）	目標値（R12）
圏域内広域避難所用資機材備蓄【簡易トイレ】	60,000回分	120,000回分

【具体的な取組内容】

連携事業名	スマート防災システム構築事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	県内統一システムの「兵庫県フェニックス防災システム」及び「被災者支援システム」の運営並びに補完システムの導入を模索することにより、デジタル広域連携を図る。				
期待される効果	近年、局地的豪雨や地震など複数自治体をまたぐ災害リスクが顕在化しており、地域を超えた連携強化が急務となっています。一自治体のみでの情報共有では、広域的な被害把握や応援要請のタイミングが遅れる恐れがあるため、県内統一システムの運営並びに補完システムの導入を模索することにより、デジタル広域連携を図る。				
事業計画	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	12,882	6,030	6,030	6,030	6,030
役割分担 中心市	関係市町と協働して、システム運営・構築し、初動対応力の強化及び日常業務の効率化を図る。				
役割分担 関係市町	中心市と協働し、システム運営・構築し、初動対応力の強化及び日常業務の効率化を図る。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	現状値（R7）	目標値（R12）
システム導入率	（新規）	100%

3 結びつきやネットワークの強化に係る具体的取組

(1) 地域公共交通

① 地域公共交通ネットワークの充実

【形成協定の内容】

取　組　内　容	圏域内移動の利便性を向上させるため、姫新線、山陽本線、路線バス等の利用促進のほか、地域公共交通の充実に向けた取組を推進する。
たつの市（甲）の役割	甲は、乙及び関係機関等と連携して、公共交通の結節点となる鉄道駅等の機能強化を図るとともに、鉄道と路線バス、コミュニティバス等の接続性の向上のほか、圏域内移動に関する公共交通ネットワークの強化に向けた調整や取組の実施を図る。また、関係機関等への働きかけや、利用促進のための普及・啓発活動を行う。
関係市町（乙）の役割	乙は、甲及び関係機関等と連携して、圏域内移動に関する公共交通ネットワークの強化に関する取組を実施する。また、甲と協力して関係機関等への働きかけや、利用促進のための普及・啓発活動を行う。

【具体的な取組内容】

連携事業名	コミュニティバス・路線バス等利用促進事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	広域連携公共交通ネットワークの構築を目指し、圏域バスの運行、MM（モビリティマネジメント）教室の開催等を実施する。				
期待される効果	圏域内人口の流出に歯止めをかけ、圏域内交流人口を増加させるとともに、公共交通利用者の増加に伴う交通渋滞の緩和と CO2 排出量の削減が期待される。また、公共交通への愛着を持ってもらうことで、マイレール・マイバス意識の醸成が期待される。				
事業計画	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
	37,255	37,255	37,255	37,255	37,255
役割分担 中心市	関係市町と連携して、広域連携公共交通ネットワークの構築を目指し、各種事業を実施する。				
役割分担 関係市町	中心市と連携して、広域連携公共交通ネットワークの構築を目指し、各種事業を実施する。				
活用を想定する補助制度等	地域公共交通確保維持改善事業				

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R6）	目標値（R12）
コミュニティバス・路線バス等利用者数（１日あたり）	2,006 人	2,071 人

【具体的な取組内容】

連携事業名	地域公共交通 Maas 推進事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	広域連携公共交通ネットワークの構築を目指し、GTFS－JP のデータの更新を行う。				
期待される効果	圏域内の公共交通に関する情報をオープンデータ化することで、民間の経路検索アプリ等に反映され、乗継案内等が促進され、圏域内の公共交通利用者の増加が期待される。				
事業計画	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
	208	93	93	93	93
役割分担 中心市	関係市と連携し、ダイヤ改正や路線変更等があった場合には GTFS－JP データを更新する。				
役割分担 関係市町	中心市と連携し、ダイヤ改正や路線変更等があった場合には GTFS－JP データを更新する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R7）	目標値（R12）
GTFS を活用する市町	3	4

【具体的な取組内容】

連携事業名	姫新線・山陽本線利用促進事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	広域乗継ガイドの作成・配布と ICOCA の普及や駅周辺の環境整備等を推進し、姫新線・山陽本線の利用を促進する。姫新線については姫新線利用促進・活性化同盟会と、山陽本線については山陽本線沿線市町連絡会と連携し、各種利用促進策を展開する。				
期待される効果	圏域内人口の流出に歯止めをかけ、圏域内交流人口を増加させるとともに、公共交通利用者の増加に伴う交通渋滞の緩和と CO2 排出量の削減が期待される。				
事業計画	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
	9,474	9,174	9,174	9,174	9,174
役割分担 中心市	関係市町と連携して、広域乗継ガイドやたつの市おでかけ時刻表等の作成・配布と ICOCA の普及や駅周辺の環境整備等を推進し、姫新線・山陽本線の利用を促進する。				
役割分担 関係市町	中心市と連携して、広域乗継ガイドの配布と ICOCA の普及や駅周辺の環境整備等に努め、姫新線・山陽本線の利用を促進する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R6）	目標値（R12）
圏域内鉄道駅乗車人数（1 日あたり）	8,150 人	8,620 人

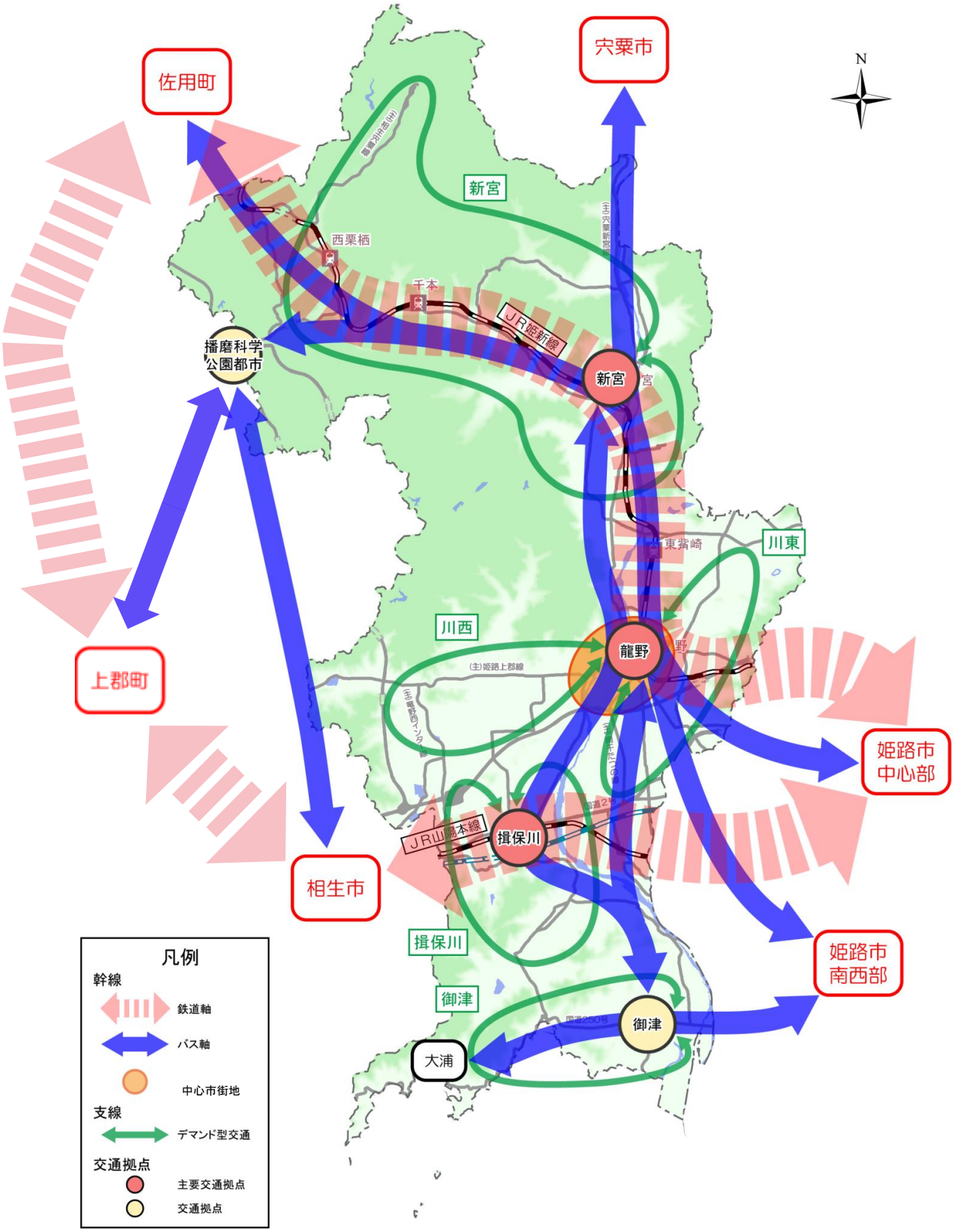
【具体的な取組内容】

連携事業名	パーク＆ライド助成相互利用促進事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	鉄道の利用を促進するため、圏域住民が定期乗車券を購入した場合に月極駐車場等の利用料金に対する助成を行うとともに、鉄道及びバスへの乗り継ぎを推進する。				
期待される効果	圏域内人口の流出に歯止めをかけ、圏域内交流人口を増加させるとともに、公共交通利用者の増加に伴う交通渋滞の緩和と CO2 排出量の削減が図れる。				
事業計画	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
	2,616	2,616	2,616	2,616	2,616
役割分担 中心市	関係市町と連携して、広域連携公共交通ネットワークの構築を目指し、各種事業を実施する。				
役割分担 関係市町	中心市と連携して、広域連携公共交通ネットワークの構築を目指し、各種事業を実施する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R6）	目標値（R12）
定期乗車券新規購入者による利用助成申請数	187 件	187 件
パーク＆ライド申請者数	（新規）	16 件

あるべき公共交通の姿


佐用町
宍粟市
N
新宮
西栗栖
千本
JR姫新線
播磨科学公園都市
新宮
東觜崎
川東
川西
龍野
上郡町
姫路市中心部
JR山陽本線
揖保川
相生市
姫路市南西部
揖保川
御津
御津
大浦
凡例
幹線
鉄道軸
バス軸
中心市街地
支線
デマンド型交通
交通拠点
主要交通拠点
交通拠点

(2) 道路等交通インフラ

① 効率的な交通機能のネットワークの形成

【形成協定の内容】

取　組　内　容	効率的な交通機能のネットワーク形成を図るため、圏域内外を結ぶ主要幹線道路や生活道路の整備を推進する。
たつの市（甲）の役割	甲は、乙と連携し、圏域の交通インフラ整備を推進する上で、中心的な役割を担い、関係機関への働きかけや早期実現に向けた活動を展開する。
関係市町（乙）の役割	乙は、甲と連携し、交通インフラの整備促進に係る関係機関への働きかけや早期実現に向けた活動を展開する。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R8）	目標値（R12）
道路整備計画路線の整備率	25%	100%

【具体的な取組内容】

連携事業名		交通インフラ整備推進事業				
連携市町名		たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容		主要幹線道路の整備促進を図り、主要幹線道路に接続する地域を結ぶ幹線道路及び生活に密着した一般道路の整備を進める。				
期待される効果		道路整備により交通ネットワークを強化し、市民生活の利便性向上、圏域の活性化及び生活環境の改善が図られる。				
事業計画		令和８年度	令和９年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
		→	→	→	→	→
事業費（単位：千円）		令和８年度	令和９年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
		1,110,900	1,043,000	747,000	720,200	840,941
役割分担	中心市	圏域内主要拠点や周辺地域を結ぶ主要幹線道路について、交通処理機能の強化のための道路整備を促進するほか、連携する市道などの一般道路と主要幹線道路との円滑な接続と道路機能の充実を推進する。				
	関係市町	中心地域と連携する主要幹線道路と一般道路との円滑な接続と道路機能の充実を図る。				
活用を想定する補助制度等		社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金、過疎地域自立促進事業、道路メンテナンス事業				

※事業費については、見込額です。

【参考：事業路線・事業箇所】

大道四箇線・上沖大道線・(仮称)新宮中央線・竜野駅前北線・片島土師線・沢田８号線・片山末政線・巽橋・堂本６号線・中臣５号線・萩原２号橋・今市橋・広山１号橋・誉１号橋・高駄２号橋・神岡橋・入野３号橋・境橋・梅ケ坪１号橋・中臣２４号橋・構５号橋・柳橋・小宅北２号橋・東觜崎５号橋・新宮８号線・末政橋・本通橋・善定橋・髙河原橋・段橋・伊加立橋・第一田幸橋・福栖橋・落合橋・北橋・麦子橋・角亀橋・才樫２号橋・上河原１号橋・村ノ前２号橋・南所橋・土橋・裏町橋・古川橋・見物橋・石黒橋・町屋橋・大橋・竹之下橋・袋来橋・中川橋・友君橋・広福橋・山田下広瀬線・有賀カンカケ５号橋・原大橋・細野橋・奥福知橋・河原橋・折居橋・赤西音水５号橋・杉谷橋・山田鹿沢１号橋・須賀沢川戸２号橋・小瀬橋・宮脇橋・丘ノ下橋・大沢小河内１号橋・日城橋・蛇渕橋・森の下橋・墓坂１号橋・内海２号橋・砂子橋・貳本垣橋・今宿 11 号１号橋・野６号１号橋・ヒシノ上橋・北野橋・丸山橋・松本橋・青木 16 号２号橋・谷橋・西土居橋・池岩橋・板谷橋・栄橋・東川橋・抜戸２号橋・梶原橋・島曽橋・分校イ橋・中谷１号橋・三久安橋・下田橋・堂坂橋・山部橋・宇原橋・小滝橋・宮橋・常楽橋・有賀カンカケ 11 号橋・川井橋・田中橋・清姫橋・神河橋・三谷神谷１号橋・五十波２号１号橋・大沢小茅野１号橋・下牧谷１号１号橋・矢野枕橋・本谷１号橋・栗原橋・津羅中島橋・山田城１号橋・道谷橋・宮ノ前橋・山野里大橋・中荒神橋・深田橋・宝蔵寺橋・京橋・峠橋・中村橋・湯浅橋・中尾上橋・薬師橋・大和橋・竹ノ口橋・鎌倉橋１号・丸山橋・神社橋・早瀬橋・弓の木橋・北条橋・亀ヶ尻橋・福吉橋

(3) 交流・定住促進

① 地域資源の活用による交流・定住促進

【形成協定の内容】

取　組　内　容	圏域内の人口減少を抑制するため、圏域内外の交流人口の増大を図るほか、移住・定住支援を推進する。
たつの市（甲）の役割	甲は、甲と乙がそれぞれ実施する移住・定住施策や交流事業等の連携や情報収集を図るとともに、圏域外の住民に対して、圏域への移住施策に関する情報を発信する。
関係市町（乙）の役割	乙は、甲が行う移住・定住施策や交流事業等の連携や情報収集に協力するとともに、圏域外の住民に対して、圏域への移住施策に関する情報を発信する。

【具体的な取組内容】

連携事業名		空き家等情報バンク制度連携事業				
連携市町名		たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容		圏域の空き家情報を相互利用するため、各市町のホームページに空き家情報を掲載する。また、一般社団法人兵庫県宅地建物取引業協会西播磨支部との連携を図り、空き家情報の集約及び円滑な仲介体制を維持する。				
期待される効果		空き家等の有効活用等による住環境の整備・促進から、ＵＩＪターン者の促進及び交流人口の増加を図ることにより、集落機能の維持、圏域の活性化が期待される。				
事業計画		令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		→	→	→	→	→
事業費（単位：千円）		令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		2,887	2,887	2,887	2,887	2,887
役割分担	中心市	空き家バンク等の移住施策と関係市町の行う空き家バンク等の移住施策との連携を図り、圏域外の住民に対して、移住施策に関する情報を発信する。				
	関係市町	圏域外の住民に対して、空き家バンク等の移住施策に関する情報を発信する。				
活用を想定する補助制度等						

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R7）	目標値（R12）
空き家バンク制度新規登録数	400件	400件

【具体的な取組内容】

連携事業名	定住促進共同情報発信事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域市町合同で定住相談会に出展し、圏域市町の魅力や移住施策を移住希望者に向けて積極的に情報発信する。				
期待される効果	圏域の魅力ある地域資源を積極的に活用し、都市部から圏域への人の流れを創出することにより、定住人口や交流人口の増加が期待される。				
事業計画	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	2,529	2,251	2,251	2,251	2,251
役割分担 中心市	関係市町及び関係機関と協力し、圏域のPR項目や空き家情報等の提供・選定を行うとともに、都市圏で開催される移住相談会への参加等、関係市町を含めた移住定住プロモーションを展開する。				
役割分担 関係市町	中心市及び関係機関と協力し、圏域のPR項目や空き家情報等の提供・選定を行うとともに、都市圏で開催される移住相談会への参加等、関係市町を含めた移住定住プロモーションを展開する。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R6）	目標値（R12）
定住自立圏域の社会減少率（対前年比）	△0.7%	△1.0%

【具体的な取組内容】

連携事業名	婚活支援事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	圏域内の若者の成婚を促進するため、男女の出会いの場の創出、成婚化に向けての各種方策を実施する。				
期待される効果	圏域全体での婚活事業の展開が可能となり、出会いの機会の増加、及び成婚率の向上が期待できる。				
事業計画	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	4,175	4,175	4,175	4,175	4,175
役割分担 中心市	関係市町と連携し、圏域住民が相互に参加できるよう情報提供するなどの調整を図り、効果的な事業運営に努める。				
役割分担 関係市町	中心市と連携し、圏域住民が相互に参加できるよう情報提供するなどの調整を図り、効果的な事業企画・運営に努める。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R6）	目標値（R12）
婚活イベント実施回数	4回	5回
カップル成立組数	19組	19組

【具体的な取組内容】

<table>
<tr><td colspan="2">連携事業名</td><td colspan="5">多文化共生社会推進事業</td></tr>
<tr><td colspan="2">連携市町名</td><td colspan="5">たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業内容</td><td colspan="5">圏域内の外国人住民を対象としたオンラインでの日本語・生活支援講座や国際交流イベントなどを実施する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">期待される効果</td><td colspan="5">圏域内で連携して事業を実施することにより、各市町のノウハウを共有できるほか、外国人住民間の交流も行うことができる。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">事業計画</td><td>令和 8 年度</td><td>令和 9 年度</td><td>令和 10 年度</td><td>令和 11 年度</td><td>令和 12 年度</td></tr>
<tr><td colspan="5">→</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">事業費
（単位：千円）</td><td>令和 8 年度</td><td>令和 9 年度</td><td>令和 10 年度</td><td>令和 11 年度</td><td>令和 12 年度</td></tr>
<tr><td colspan="5">※事業化に向け検討し、事業化する場合は、各年度において事業費を予算計上</td></tr>
<tr><td rowspan="2">役割分担</td><td>中心市</td><td colspan="5">圏域内の外国人住民を対象としたオンラインでの日本語・生活支援講座や国際交流イベントなどの実施を検討するに当たり、継続的に圏域間で協議を行う。</td></tr>
<tr><td>関係市町</td><td colspan="5">圏域内の外国人住民を対象としたオンラインでの日本語講座や国際交流イベントなどの実施を検討するに当たり、協議に参加する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">活用を想定する補助制度等</td><td colspan="5"></td></tr>
</table>

4 圏域マネジメント能力の強化に係る具体的取組

(1) 人材育成

① 地域をけん引する人材の育成及び人事交流の実施

【形成協定の内容】

取　組　内　容	圏域のマネジメント能力の強化を図るため、職員の合同研修会の開催のほか、外部の専門的な人材の活用と人事交流を推進する。
たつの市（甲）の役割	甲は、関係職員の能力向上に向けた研修等を実施するとともに、各政策分野に応じた専門的な人材を確保し活用する。
関係市町（乙）の役割	乙は、甲が開催する関係職員の能力向上に向けた研修等に参加するとともに、各政策分野に応じた専門的な人材を確保し活用する。

【具体的な取組内容】

連携事業名		圏域内市町職員交流事業				
連携市町名		たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容		圏域内における職員の能力及び資質の向上を図るため、外部人材を招いての合同研修会及び職種や業務単位での担当者会議を開催する。				
期待される効果		圏域全体の職員の資質向上に寄与し、圏域市町間における職員の連携強化が図れる。				
事業計画		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		→	→	→	→	→
事業費（単位：千円）		令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
		200	200	200	200	200
役割分担	中心市	圏域共通の課題解決のため、圏域で実施することが効果的な合同研修会を開催する。				
	関係市町	中心市が実施する研修や担当者会議等に参加する。				
活用を想定する補助制度等						

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R6）	目標値（R12）
職員研修受講人数	17人	40人

【具体的な取組内容】

連携事業名	アナログ規制総点検事業				
連携市町名	たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町				
事業内容	条例をはじめとする社会制度やルールで規定されるアナログ的な手法（人の目による確認、現地での調査、書面での掲示など）を前提とする古い規制（「デジタル原則」に適合しない規制）を見直しデジタル化を推進するため、職員の合同研修会や担当者会議等を開催する。				
期待される効果	条例・規則等のアナログ規制の見直しを図り、デジタル技術の活用が可能な環境を整備するため、圏域の職員が連携しアナログ規制への理解を深め、その見直しを進める。				
事業計画	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	→				
事業費（単位：千円）	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	0	0	0	0	0
役割分担 中心市	関係市町と連携・協力し、圏域全体でのアナログ規制の見直しを図るため、合同研修会や担当者会議等を開催する。				
役割分担 関係市町	中心市と連携・協力し、合同研修会や担当者会議等に参加するとともに、アナログ規制の見直しを進める。				
活用を想定する補助制度等					

※事業費については、見込額です。

重要業績評価指標（ＫＰＩ）	基準値（R7）	目標値（R12）
アナログ規制見直し完了率	0%	100%

第５章　資料編

1 播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン成果指標及び進捗状況一覧

生活機能の強化に係る政策分野

① 医療　　医療圏域体制の充実

成果指標	基準値	R8 実績	R9 実績	R10 実績	R11 実績	R12 実績	R12 目標値
（1）医療従事者、看護師の養成・確保対策事業（累計）							
奨学制度新規利用者数（医師）【累計】	2 人						7 人
奨学制度新規利用者数（看護師）【累計】	8 人						18 人
（2）圏域内地域医療機関連携事業							
電話相談実施件数	34 件						35 件
出前講座実施件数	33 件						30 件
（3）医療人材育成事業							
研修医受入人数(人)	5 件						5 件
医療職実習生受入人数(人)	220 件						220 件
（4）持続可能な地域医療体制推進事業							
オンライン診療実施件数	136 件						136 件
遠隔読影件数	4,000 件						4,000 件
（5）健康寿命延伸化事業							
骨粗しょう症プログラム実施人数	830 人						850 人
糖尿病教室参加人数	20 人						20 人

② 福祉　　1）高齢者・障害者支援及び認知症対策体制の充実

成果指標	基準値	R8 実績	R9 実績	R10 実績	R11 実績	R12 実績	R7 目標値
（6）認知症初期集中支援連携事業							
医療・介護サービスにつながった者の割合	75%						75%

成果指標	基準値	R8 実績	R9 実績	R10 実績	R11 実績	R12 実績	R7 目標値
（7）在宅医療・介護連携ＩＣＴシステム推進事業							
ＩＣＴシステムアカウント数	166 件						196 件
登録患者数	666 人						846 人
（8）高齢者等ＳＯＳネットワーク構築事業							
ＳＯＳネットワーク登録者数	619 人						829 人
（9）福祉資格取得助成事業							
助成事業による新規資格取得者数【累計】	320 人						420 人
（10）生活支援サポーター養成事業（累計）							
生活支援サポーター養成事業	95 人						140 人

② 福祉　　2）子育て支援体制の充実

成果指標	基準値	R8 実績	R9 実績	R10 実績	R11 実績	R12 実績	R12 目標値
（11）ファミリーサポートセンター広域実施事業							
ファミリーサポートセンター登録会員数	1,059 人						1,059 人
ファミリーサポート養成講座の開催回数	12 回						12 回
（12）病後児保育施設の相互利用							
利用者数	392 人						610 人

③ 教育　　学校教育・社会教育の充実

成果指標	基準値	R8 実績	R9 実績	R10 実績	R11 実績	R12 実績	R12 目標値
（13）特別支援学校センター的機能を活用した教育相談事業							
教育相談事業実施延回数	140 回						150 回
（14）文化財情報発信共同展示事業							
ホームページ投稿回数	（新規）						20 回
逸品展示天来館者数	1,100 人						1,200 人

成果指標	基準値	R8 実績	R9 実績	R10 実績	R11 実績	R12 実績	R12 目標値
（15）電子図書館事業							
電子図書館年間貸出冊数	6,244 冊						12,000 冊
（16）図書館読書活動推進事業							
読書活動推進講演会の来場者数	1,049 人						1,200 人
（17）圏域図書館連絡便事業							
圏域図書館連絡便年間利用冊数	2,489 冊						2,650 冊
（18）体育教育施設の相互利用及び各種スポーツ大会連携事業							
スポーツ大会連携事業交流参加者数	4,249 人						4,300 人

④ 産業振興　　1）農林畜産業の振興

成果指標	基準値	R8 実績	R9 実績	R10 実績	R11 実績	R12 実績	R12 目標値
（19）新規就農者奨励事業							
新規就農者数	1 人						1 人
（20）獣害対策事業							
市町境界隣接自治会における捕獲数	204 頭						289 頭

④ 産業振興　　2）圏域観光の推進

成果指標	基準値	R8 実績	R9 実績	R10 実績	R11 実績	R12 実績	R12 目標値
（21）観光客誘致対策事業							
観光客入込数	3,188,370 人						3,589,000 人

④ 産業振興　　3）雇用・企業等誘致の推進

成果指標	基準値	R8 実績	R9 実績	R10 実績	R11 実績	R12 実績	R7 目標値
（22）ビジネスマッチングフェア開催事業							
ビジネスマッチングフェア参加企業数	10 社						20 社

成果指標	基準値	R8 実績	R9 実績	R10 実績	R11 実績	R12 実績	R12 目標値
（23）合同就職説明会事業							
合同就職面接会参加者数	64 人						90 人
（24）地元企業魅力発信事業							
合同説明会に参加する学生の人数	（新規）						300 人
（25）企業等立地支援事業							
奨励金等による新規雇用創出人数	7 人						28 人

④ 産業振興　　4）地産地消の推進

成果指標	基準値	R8 実績	R9 実績	R10 実績	R11 実績	R12 実績	R12 目標値
（26）地産地消体験活動推進事業							
特産品の販売回数	（新規）						24 回
販売イベントの参加者数	（新規）						700 人
（27）地場産品普及事業							
イベント出展回数	3 回						6 回

⑤ 環境　　環境への負荷の少ない持続可能な社会の構築

成果指標	基準値	R8 実績	R9 実績	R10 実績	R11 実績	R12 実績	R12 目標値
（28）電気自動車普及促進事業							
急速充電器利用回数	1,898 回						1,250 回
（29）環境美化啓発看板設置事業							
不法投棄物処理量	7.35 t						6.61 t
（30）食べきり運動応援事業							
食べきり運動協力店登録数	47 店						57 店
（31）環境保全・ごみ減量化啓発事業							
家庭系普通ごみ排出量	23,858 t						23,017 t

成果指標	基準値	R8 実績	R9 実績	R10 実績	R11 実績	R12 実績	R12 目標値
（32）情報通信機器等再資源化事業							
小型家電の回収量（kg）	（新規）						3,000Kg
（33）森林資源利活用促進事業							
関係市町での情報共有回数（回）	0回						2 回

⑥ 消防防災　　圏域内防災体制の強化

成果指標	基準値	R8 実績	R9 実績	R10 実績	R11 実績	R12 実績	R12 目標値
（34）防災リーダー養成事業							
フォローアップ研修受講者数	40 人						40 人
（35）災害備蓄資機材整備・避難者受入対策事業							
圏域内広域避難所用資機材備蓄【簡易トイレ】	60,000 回分						120,000 回分
（36）スマート防災システム構築事業							
システム導入率	（新規）						100%

結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

① 地域公共交通　　地域公共交通ネットワークの充実

成果指標	基準値	R8 実績	R9 実績	R10 実績	R11 実績	R12 実績	R12 目標値
（37）コミュニティバス・路線バス等利用促進事業							
コミュニティバス・路線バス等利用者数（1 日あたり）	2,006 人						2,071 人
（38）地域公共交通 Maas 推進事業							
GTFS を活用する市町	3 市町						4 市町
（39）姫新線・山陽本線利用促進事業							
圏域内鉄道駅乗車人数（1 日あたり）	8,150 人						8,620 人

成果指標	基準値	R8 実績	R9 実績	R10 実績	R11 実績	R12 実績	R12 目標値
（40）パーク＆ライド助成相互利用促進事業							
定期乗車券新規購入者による利用助成申請数	187 件						187 件
パーク＆ライド申請者数	16 件						16 件

② 道路等交通インフラ　　効率的な交通機能のネットワークの形成

成果指標	基準値	R8 実績	R9 実績	R10 実績	R11 実績	R12 実績	R12 目標値
（41）交通インフラ整備推進事業							
道路整備計画路線の整備率	25%						100%

③ 交流・定住促進　地域資源の活用による交流・定住促進

成果指標	基準値	R8 実績	R9 実績	R10 実績	R11 実績	R12 実績	R12 目標値
（42）空き家等情報バンク制度連携事業							
空き家バンク制度新規登録数	400 件						400 件
（43）定住促進共同情報発信事業							
定住自立圏域の社会減少率（対前年比	△0.7%						△1.0%
（44）婚活支援事業							
婚活イベント実施回数	4 回						5 回
カップル成立組数	19 組						19 組
（45）多文化共生社会推進事業							

圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

① 人材育成　　地域をけん引する人材の育成及び人事交流の実施

成果指標	基準値	R8 実績	R9 実績	R10 実績	R11 実績	R12 実績	R12 目標値
（46）圏域内市町職員交流事業							
職員研修受講人数	17 人						40 人
（47）アナログ規制総点検事業							
アナログ規制見直し完了率	0%						100%

2 播磨科学公園都市圏域定住自立圏協議経過

年　月　日	協　議　経　過　内　容
平成 27 年 5 月～	定住自立圏構想協議開始（趣意書作成・講演会開催）
平成 27 年 6 月 29 日	第 1 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
平成 27 年 7 月 16 日	第 2 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
平成 27 年 8 月 26 日	第 3 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
平成 27 年 9 月 25 日	定住自立圏構想中心市宣言（たつの市） 定住自立圏構想中心市宣言式の開催
平成 27 年 11 月 18 日	第 4 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
平成 27 年 12 月～	連携事業各市町事務担当者協議開始（15 分科会）
平成 27 年 12 月 22 日	第 5 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
平成 28 年 1 月 29 日	第 6 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
平成 28 年 3 月	各市町議会における定住自立圏形成協定の締結に関する議案の議決 たつの市：3 月 24 日　　宍粟市：3 月 25 日 上郡町　：3 月 11 日　　佐用町：3 月 14 日
平成 28 年 3 月 30 日	定住自立圏形成協定調印式（協定書締結）
平成 28 年 4 月 22 日	第 7 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
平成 28 年 6 月 23 日	第 1 回播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催 （委員委嘱・定住自立圏構想・共生ビジョン案の検討　等）
平成 28 年 7 月 4 日	第 8 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
平成 28 年 7 月 7 日	連携市町長会議の開催
平成 28 年 7 月 25 日～ 平成 28 年 8 月 25 日	共生ビジョンパブリックコメントの実施
平成 28 年 8 月 4 日	第 9 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
平成 28 年 9 月 20 日	第 10 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
平成 28 年 9 月 27 日	第 2 回播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催 （共生ビジョン案の検討　等）
平成 28 年 9 月 27 日	播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョンの策定
平成 28 年 12 月 20 日	第 11 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
平成 29 年 4 月 26 日	第 12 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
平成 29 年 6 月 27 日	第 13 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
平成 29 年 7 月 28 日	連携市町長会議の開催

平成 29 年 9 月 11 日	第 14 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
平成 29 年 9 月 27 日	第 3 回播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催
平成 29 年 9 月 27 日	播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョンの改定
平成 30 年 2 月 22 日	連携市町長会議の開催
平成 30 年 11 月 16 日	第 15 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
平成 31 年 2 月 19 日	第 4 回播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催
平成 31 年 2 月 19 日	播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョンの改定
平成 31 年 3 月 14 日	連携市町長会議の開催
令和元年 7 月 9 日	第 16 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
令和 2 年 2 月 20 日	第 5 回播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催
令和 2 年 7 月 22 日	第 17 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催【書面審議】
令和 2 年 10 月 26 日	第 18 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
令和 2 年 12 月 21 日	連携市町長会議の開催
令和 3 年 3 月 30 日	第 6 回播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催【書面審議】
令和 3 年 3 月 30 日	第 2 期　播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョンの策定
令和 3 年 5 月 13 日	第 19 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
令和 4 年 2 月 18 日	第 7 回播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催【書面審議】
令和 4 年 5 月 25 日	第 20 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
令和 4 年 6 月 21 日	連携市町長会議の開催
令和 4 年 12 月 26 日	連携市町長会議の開催
令和 5 年 2 月 24 日	第 8 回播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催
令和 5 年 5 月 9 日	第 21 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
令和 6 年 1 月 31 日	連携市町長会議の開催
令和 6 年 3 月 7 日	第 9 回播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催
令和 6 年 6 月 18 日	第 22 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
令和 7 年 2 月 21 日	第 10 回播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催
令和 7 年 3 月 3 日	連携市町長会議の開催

令和 7 年 4 月 30 日	第 23 回定住自立圏構想ワーキンググループ会議の開催
令和 7 年 8 月 29 日	第 11 回播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催
令和 8 年 2 月 24 日	連携市町長会議の開催
令和 8 年 3 月 16 日	第 12 回播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催

3 播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿

分　野	氏　名	所属・団体名・役職等	摘要
教育・人材育成・環境	内田　勇人	兵庫県公立大学法人兵庫県立大学副学長	
医療	上田　　治	地方独立行政法人たつの市民病院機構法人事務局長	
医療	菅原　　誠	公立宍粟総合病院副院長兼事務部長	
医療・福祉	佐野　一成	たつの市・揖保郡医師会会長	
福祉	横田　京悟	たつの市社会福祉協議会会長	
福祉	岸本　年生	宍粟市社会福祉協議会会長	
福祉	末政　貴広	上郡町社会福祉協議会理事長	
福祉	井上　洋文	佐用町社会福祉協議会会長	
産業振興	頃安　雅樹	龍野商工会議所会頭	
産業振興	内海　博幸	たつの市商工会会長	
産業振興	松本　貞人	宍粟市商工会会長	
産業振興	大崎　基弘	上郡町商工会会長	
産業振興	古川　　貢	佐用町商工会会長	
産業振興	桑垣　喜一	西兵庫信用金庫理事長	
消防防災	中川　裕文	西はりま消防組合消防長	
地域公共交通	池内　康二	株式会社ウイング神姫代表取締役	
交流・定住促進	井口　明則	一般社団法人兵庫県宅地建物取引業協会西播磨支部幹事	
交流・定住促進	真田　忠敏	住民代表（たつの市連合自治会副会長）	
交流・定住促進	野村　和男	住民代表（宍粟市連合自治会会長）	
交流・定住促進	西山　武彦	住民代表（上郡町連合自治会会長）	
交流・定住促進	加藤　政男	住民代表（佐用町地域づくり協議会代表センター長）	

.

播磨科学公園都市圏域定住自立圏共生ビジョン

【第１期】
平成 28 年 9 月 27 日　策定
令和 3 年 3 月 30 日　第４次改定
【第２期】
令和 3 年 3 月 30 日　策定
令和 8 年 3 月 16 日　第５次改定
【第３期】
令和 8 年 3 月 31 日　策定

◆発行：たつの市・宍粟市・上郡町・佐用町

◆編集：たつの市企画財政部企画課

〒679-4192　たつの市龍野町富永 1005 番地 1

TEL：0791-64-3031　　FAX：0791-63-3786

E ﾒｰﾙ：kikaku@city.tatsuno.lg.jp

◆播磨科学公園都市圏域定住自立圏専用ホームページ

(https://www.city.tatsuno.lg.jp/teijyujiritsuken/index.html)

播磨科学公園都市圏域
定住自立圏